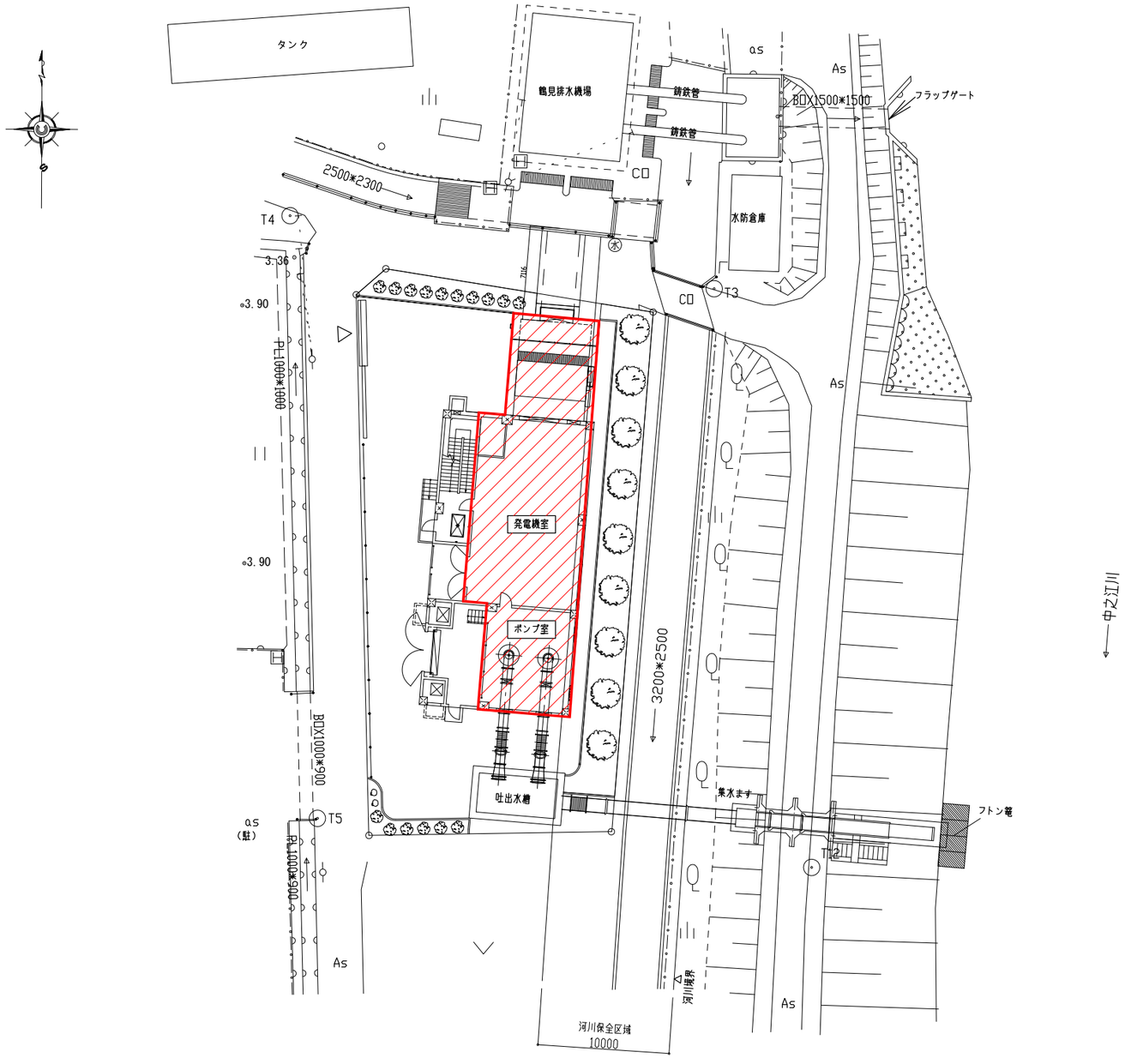
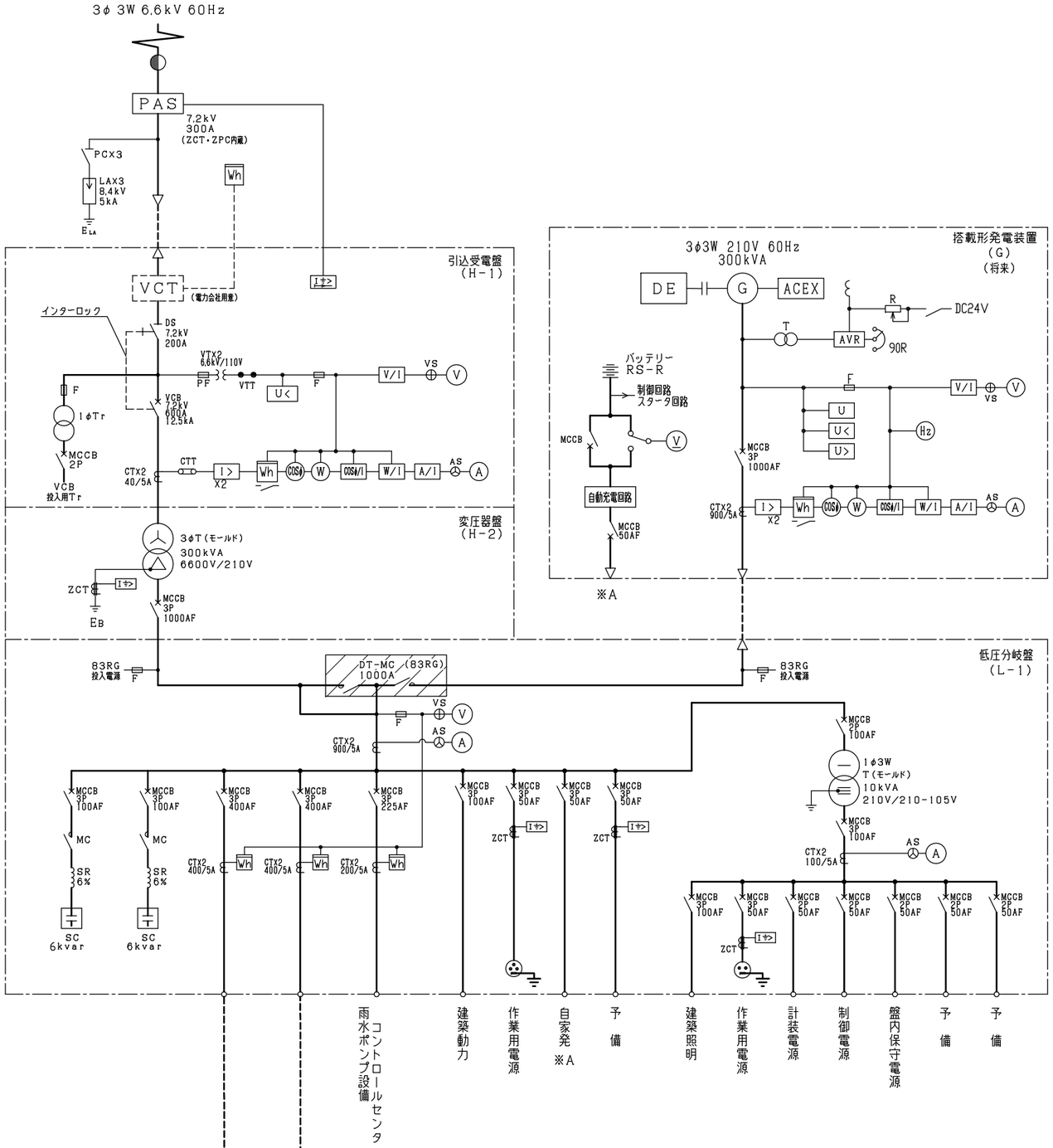


注 記

1. □ は今回範囲を示す。

工事名	（補）鶴見ポンプ場建設（電気）工事		
図 名	一般平面図		
縮 尺	A1: 1/200 A3: 1/400	図面番号	E-01
大垣市水道部下水道課			



凡 例

記 号	名 称
A	交流電流計
AS	同上切換スイッチ
V	交流電圧計
VS	同上切換スイッチ
HZ	周波数計
COSφ	力率計
Wh	電力量計
U<	不足電圧継電器
49	熱動形過電流継電器
I>	過電流継電器
I⇐>	地絡過電流継電器
I⇐>	地絡方向継電器
84G	電圧継電器
V/I	電圧トランスデューサ
A/I	電流トランスデューサ
W/I	電力トランスデューサ
COS/I	力率トランスデューサ
T	変圧器
3φ	三相
1φ	単相
VT	計器用変圧器
CT	変流器

記 号	名 称
ZCT	零相変流器
DS	断路器
VCB	真空遮断器
MCCB	配線用遮断器
DT-MC	双投電磁接触器
MC	電磁接触器
PF	電力ヒューズ
F	ヒューズ
CTT	電流用試験端子
VTT	電圧用試験端子
PAS	柱上気中開閉器
SC	進相用コンデンサ
LA	避雷器
VCT	取引用変成器
PC	プライマリーカットアウト
DE	ディーゼルエンジン
G	発電機
AVR	自動電圧調整器
ACEX	交流励磁器
90R	電圧設定器
ELCB	配線用漏電遮断器
HM	運転時間計

注記

1．本図は今回を示す。

2．▨：将来を示す。

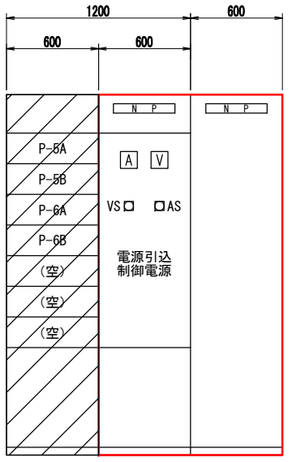
工事名	（補） 鶴見ポンプ場建設（電気）工事		
図 名	単線結線図		
縮 尺	1/NONE	図面番号	E-02
大垣市水道部下水道課			

低圧分岐盤より
3φ 3W 210V 60Hz

D

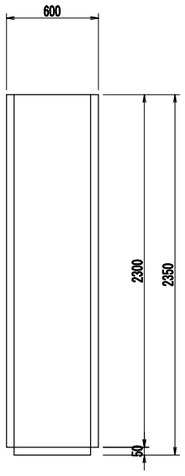
雨水ポンプ設備コントロールセンタ
（CC－P）

回路記号		Z1	B	B	B	A	A	A	M
負荷名称		制御電源	流入ゲート	除塵機	No.1,2 雨水ポンプ 吐出弁	床排水 ポンプ	自家発用 給気ファン	自家発用 排風ファン	予 備
負荷番号			P-1	P-2	P-3A, B	P-4A, B	P-5A, B	P-6A, B	
容量（kW）		1kVA	2.2	2.2	0.4	1.5	1.5	1.5	
MCCB（AF）		100	50	50	50	50	50	50	50
台数									
	今回		1	1	2	2(1)	0	0	0
	全体	1	1	1	2	2(1)	2	2	1
CT				○					
ZCT＋ELR			○	○	○	○	○	○	○
運転時間計				○		○			
進相コンデンサ									
備 考				ショックリレー					

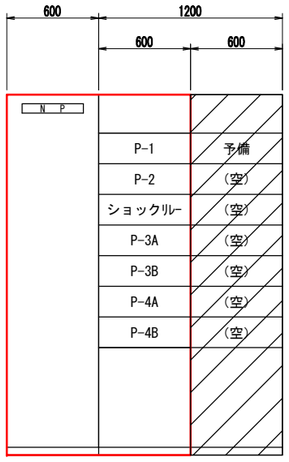


雨水ポンプ設備
コントロールセンタ（表）
(CC-P)

雨水ポンプ設備
補助継電器盤（表）
(RY-P)



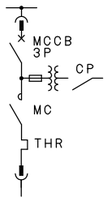
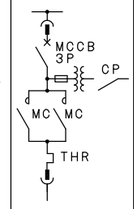
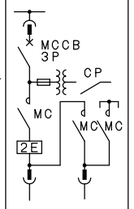
側 面 図

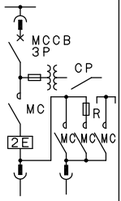
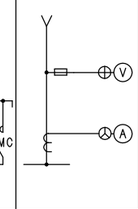
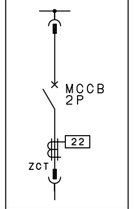


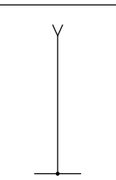
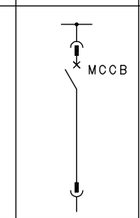
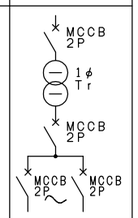
雨水ポンプ設備
コントロールセンタ（裏）
(CC-P)

雨水ポンプ設備
補助継電器盤（裏）
(RY-P)

コントロールセンターユニット結線図

回路名称	非可逆	可逆	オープン形Y－Δ
回路記号	A	B	CO
結線図			
備 考			

回路名称	クローズ形Y－Δ	MCCB	電源送り
回路記号	CC	D	M
結線図			
備 考			

回路名称	直接引込	電源送り	制御用変圧器
回路記号	X	Y	Z1
結線図			
備 考			

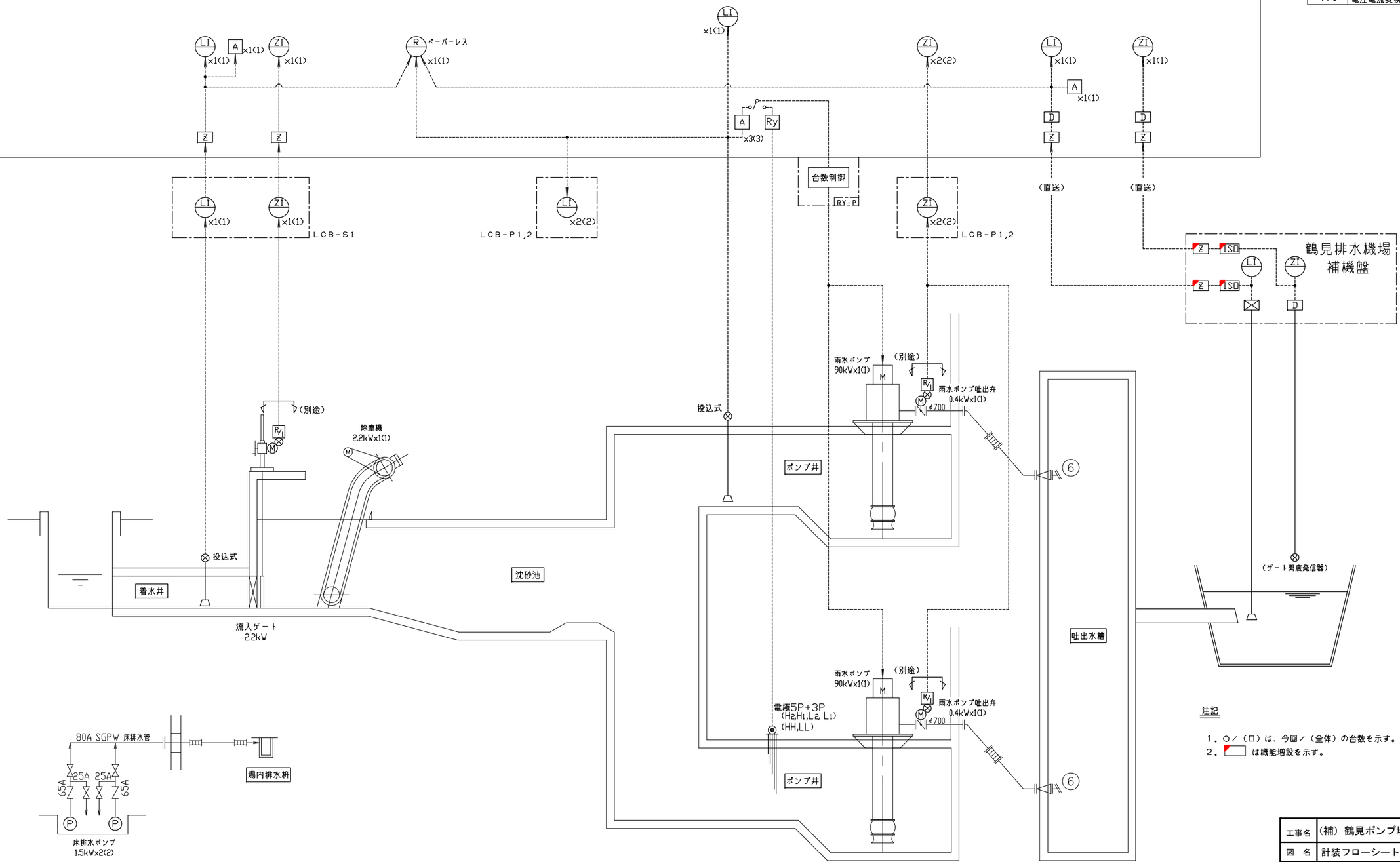
注記
1．□：今回を示す。
2．▨：将来を示す。

工事名	（補）鶴見ポンプ場建設（電気）工事		
図 名	雨水ポンプ設備コントロールセンタ 単線結線図・外形図		
縮 尺	1/NONE	図面番号	E-03
大垣市水道部下水道課			

計測項目		着水井水位	流入ゲート開度	ポンプ井水位	ポンプ井水位	吐出弁開度	中之江川水位	中之江川ゲート開度
台数	今回	1	1	1	1	2	1	1
	全体	1	1	1	1	2	1	1
監視計装盤	表示	○	○	○		○	○	○
	記録	○					○	

凡例

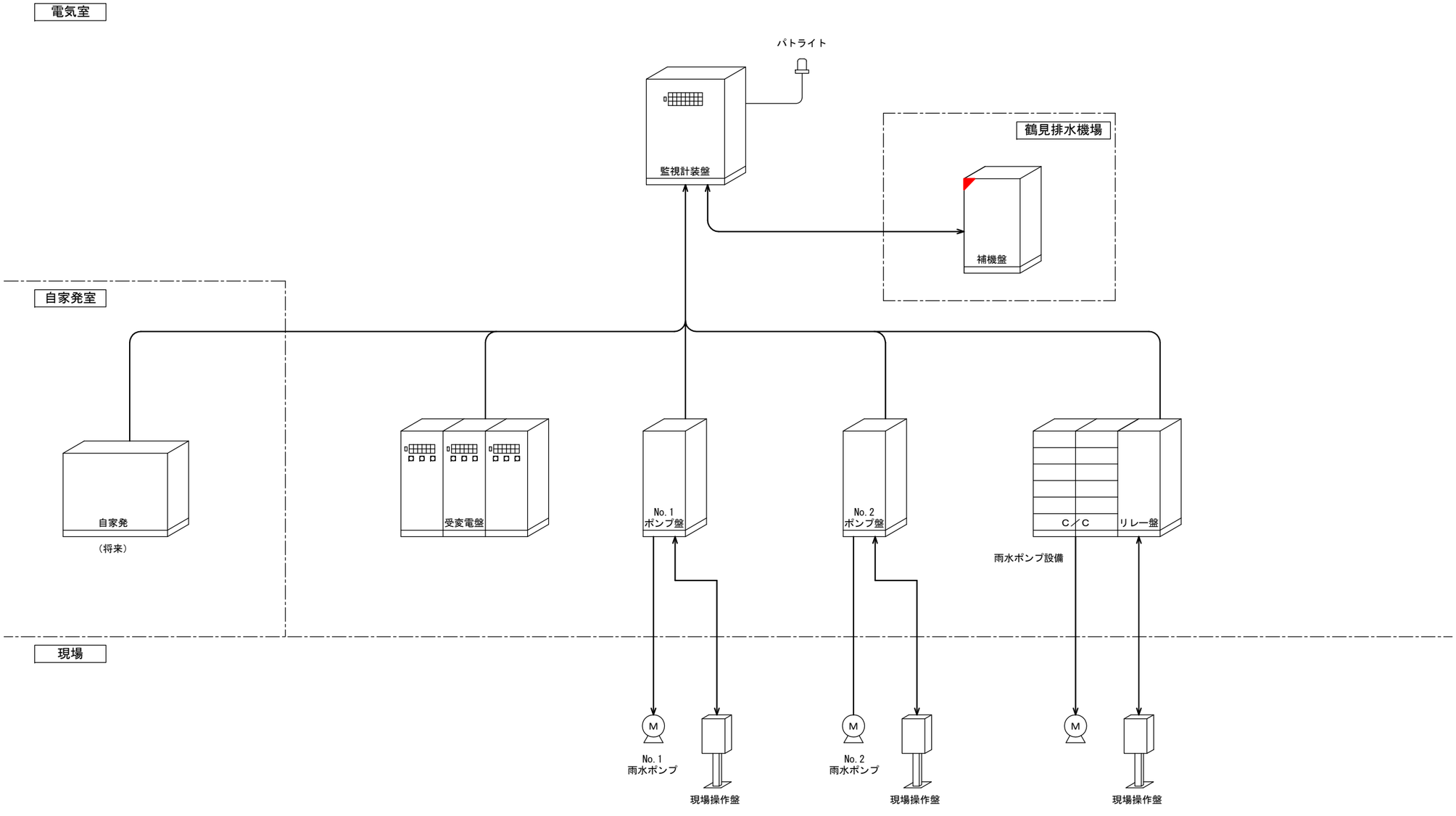
記号	名称
L	水位
Z	開度
I	指示計
R	記録計
A	警報設定器
Z	アレスタ
D	ディストリビュータ
ISO	絶縁変換器
—	偏差演算器
⊗	偏差表示灯
V/I	電圧電流変換器



注記

1．○／（□）は、今回／（全体）の台数を示す。
2．□ は機能増設を示す。

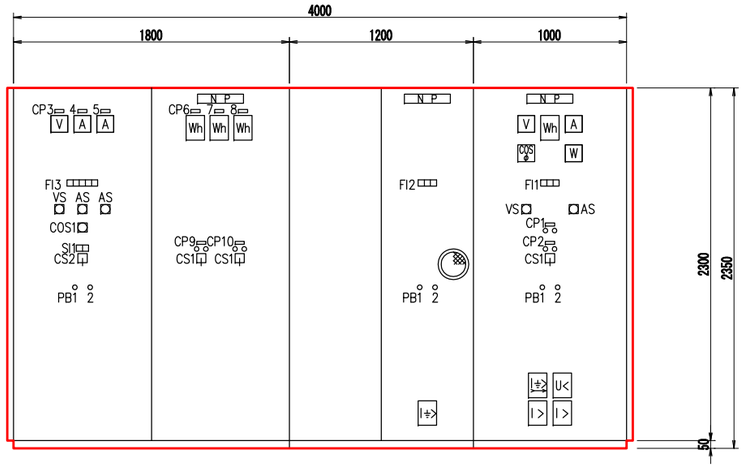
工事名	（補）鶴見ポンプ場建設（電気）工事		
図名	計装フローシート		
縮尺	1/NONE	図面番号	E-04
大垣市水道部下水道課			



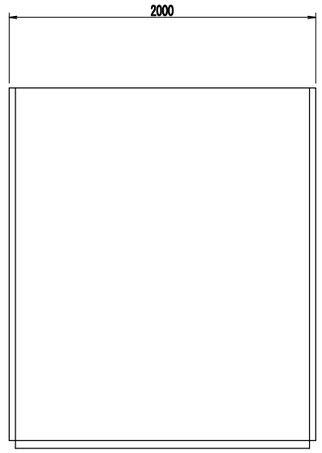
注記
1．□ は機能増設を示す。
それ以外は今回を示す。

工事名	（補）鶴見ポンプ場建設（電気）工事		
図　名	システム系統図		
縮　尺	1/NONE	図面番号	E-05
大垣市水道部下水道課			

正　面　図



側　面　図



盤名称	低圧分岐盤	変圧器盤	引込受電盤
盤記号	L－1	H－2	H－1

FI1

停　電	過電流	地　絡

FI2

変圧器温度上昇	変圧器2次過電流	変圧器2次地　絡

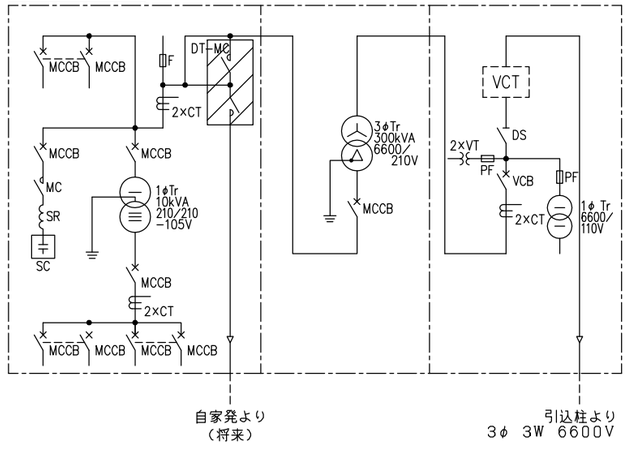
FI3

動　力フィーダ故　障	照　明フィーダ故　障	No.1 進相コンデンサ故　障	No.2 進相コンデンサ故　障	制御電源断

SI1

買　電	自家発

ブロックスケルトン



銘板一覧表及び凡例

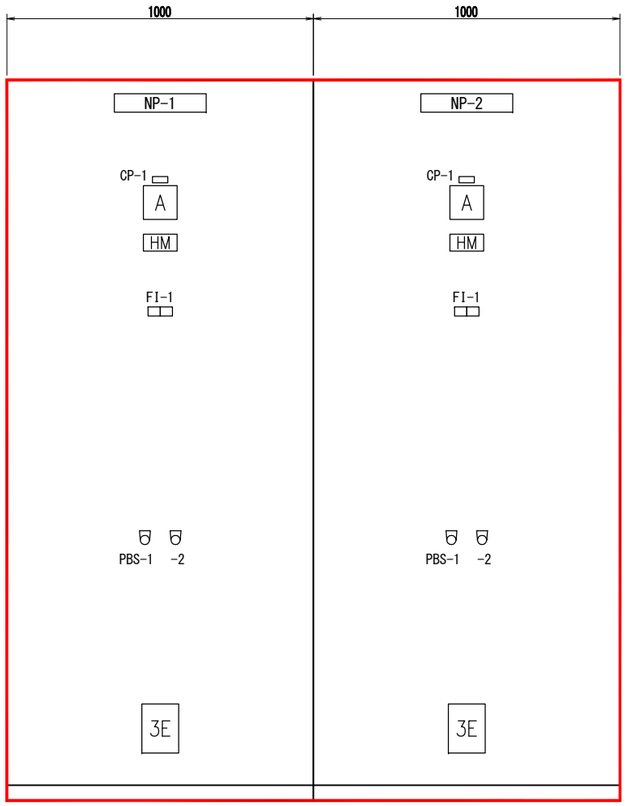
記　号	名　　称
CP1	受電断路器
2	受電遮断器
3	動力主幹電圧
4	動力主幹電流
5	照明主幹電流
6	No.1ポンプ
7	No.2ポンプ
8	コントロールセンター
9	No.1 進相コンデンサ
10	No.2 進相コンデンサ
COS1	切換スイッチ（手動－自動）
CS1	操作スイッチ（切－入）
2	〃　　（買電－自家発）
PB1	押釦スイッチ（故障復帰）
2	〃　　（ランプテスト）

注記

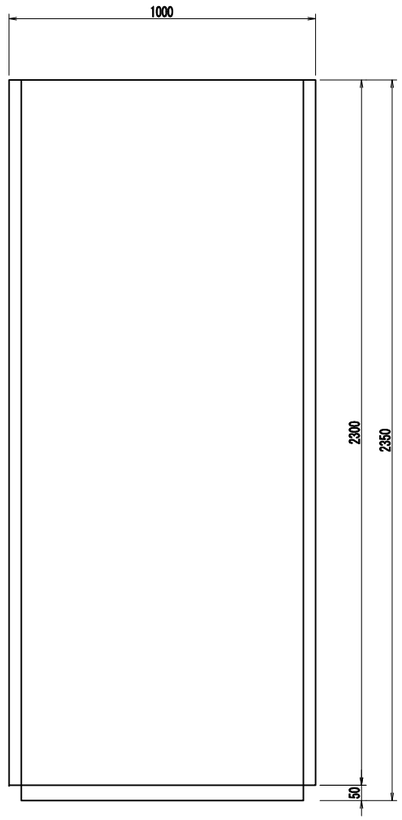
1．□：今回を示す。

2．▨：将来を示す。

工事名	（補）鶴見ポンプ場建設（電気）工事		
図　名	高低圧盤外形図		
縮　尺	1/20	図面番号	E-06
大垣市水道部下水道課			

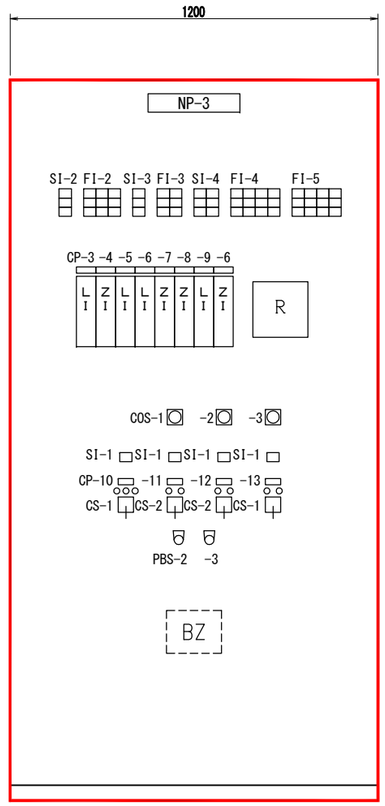


正 面 図

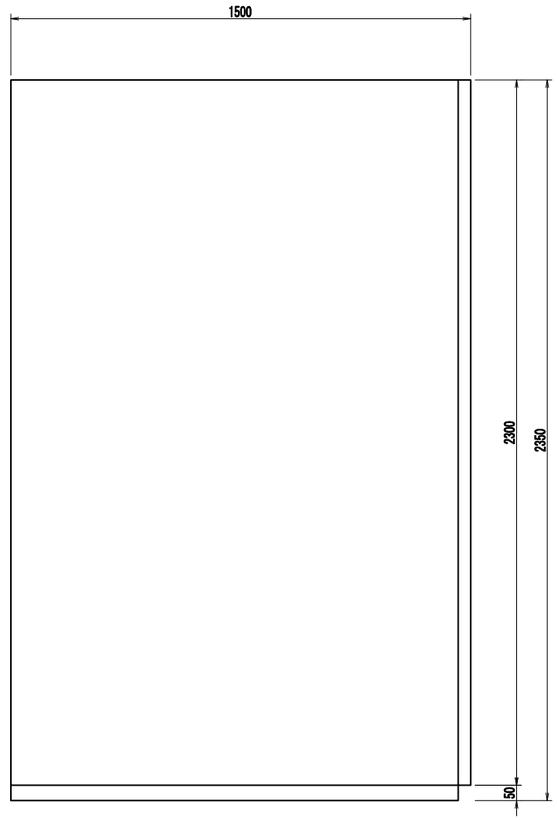


側 面 図

雨水ポンプ盤外形図 S=1/10



正 面 図



側 面 図

監視計装盤外形図 S=1/10

FI-1

雨水ポンプ 3E動作	雨水ポンプ 地 絡

SI-1

操作可

SI-2

商用電源		
自家発運転		
自家発送電		

FI-2

受電停電	自家発 重故障	自家発 非常停止
受電盤 故 障	自家発 軽故障	燃料小出槽 液位低
変圧器盤 故 障	低圧分岐盤 故 障	予 備

SI-3

流入ゲート 全 開
流入ゲート 全 閉
予 備

FI-3

流入ゲート 故 障	除塵機 故 障
床排水ポンプ 故 障	予 備
給気ファン 故 障	**換気ファン** 故 障

SI-4

No.1 吐出弁 全 開	No.2 吐出弁 全 開
No.1 吐出弁 全 閉	No.2 吐出弁 全 閉
予 備	予 備

FI-4

No.1 雨水ポンプ 故 障	No.1 吐出弁 過負荷	No.2 雨水ポンプ 故 障	No.2 吐出弁 過負荷
No.1 雨水ポンプ 起動渋滞	No.1 吐出弁 地 絡	No.2 雨水ポンプ 起動渋滞	No.2 吐出弁 地 絡
予 備	予 備	予 備	予 備

FI-5

着水井 異常高	**ポンプ井水位** 異常高	**中之江川水位** 異常高	中之江川 ゲート 故 障
着水井 異常低	**ポンプ井水位** 異常低	床排水 ポンプ 故 障	予 備
予 備	予 備	**排水ピット** 異常高	予 備

銘板記入文字

記 号	名 称
NP-1	No.1 雨水ポンプ盤
NP-2	No.2 雨水ポンプ盤
NP-3	監視計装盤
CP-1	No.1 雨水ポンプ電流
CP-2	No.2 雨水ポンプ電流
CP-3	着水井水位
CP-4	流入ゲート開度
CP-5	ポンプ井水位
CP-6	中之江川ゲート開度
CP-7	No.1 雨水ポンプ吐出弁開度
CP-8	No.2 雨水ポンプ吐出弁開度
CP-9	中之江川水位
CP-10	流入ゲート
CP-11	No.1 雨水ポンプ
CP-12	No.2 雨水ポンプ
CP-13	中之江川ゲート

凡 例

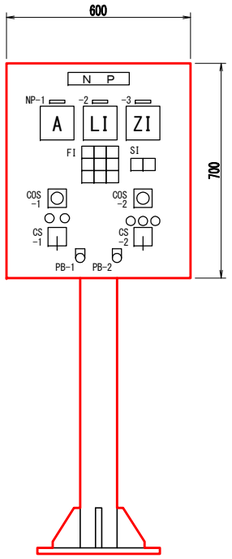
記 号	名 称
COS-1	切換スイッチ（手動－半自動－自動）
COS-2	切換スイッチ（先発号機 No.1－No.2）
COS-3	切換スイッチ（水位計 投込－電極）
CS-1	操作スイッチ（閉－停止－開）
CS-2	操作スイッチ（停止－運転）
PBS-1	押釦スイッチ（表示復帰）
PBS-2	押釦スイッチ（ランプテスト）
PBS-3	押釦スイッチ（警報停止）
R	記録計

注記

1．□：今回を示す。
2．▨：将来を示す。
3．姿図は、参考とする。

工事名	（補）鶴見ポンプ場建設（電気）工事		
図 名	ポンプ盤・監視計装盤 外形図		
縮 尺	1/10	図面番号	E-07

大垣市水道部下水道課



FI

No.1 ポンプ 3E動作	ポンプ井 水位 異常高	No.1 吐出弁 過負荷
No.1 ポンプ 地 絡	ポンプ井 水位 異常低	No.1 吐出弁 地 絡
No.1 ポンプ 起動渋滞	予備	No.1 吐出弁 過トルク

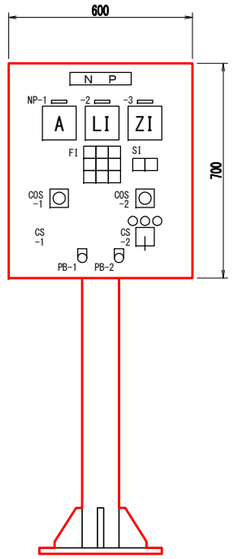
SI

No.1 吐出弁 全 閉	No.1 吐出弁 全 開

記 号	名 称
NP-1	No.1 雨水ポンプ
NP-2	ポンプ井水位
NP-3	No.1 吐出弁開度
COS-1	現場-中央
COS-2	単独-連動
CS-1	停止-運転
CS-2	閉-停止-開
PB-1	ランプテスト
PB-2	故障復帰

正 面 図

No.1 雨水ポンプ
現場操作盤
(LCB-P1)



FI

No.2 ポンプ 3E動作	ポンプ井 水位 異常高	No.2 吐出弁 過負荷
No.2 ポンプ 地 絡	ポンプ井 水位 異常低	No.2 吐出弁 地 絡
No.2 ポンプ 起動渋滞	予備	No.2 吐出弁 過トルク

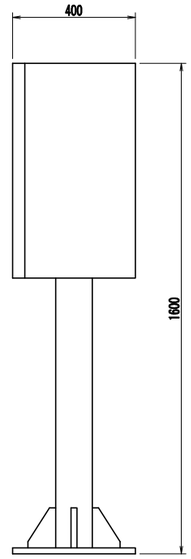
SI

No.2 吐出弁 全 閉	No.2 吐出弁 全 開

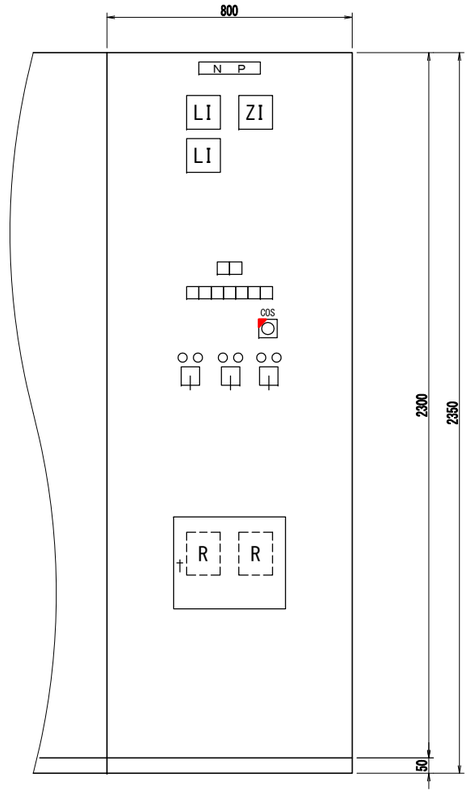
記 号	名 称
NP-1	No.2 雨水ポンプ
NP-2	ポンプ井水位
NP-3	No.2 吐出弁開度
COS-1	現場-中央
COS-2	単独-連動
CS-1	停止-運転
CS-2	閉-停止-開
PB-1	ランプテスト
PB-2	故障復帰

正 面 図

No.2 雨水ポンプ
現場操作盤
(LCB-P2)

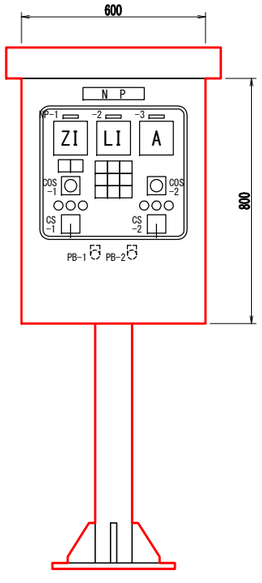


側 面 図



(鶴見排水機場)
補機盤

記 号	名 称
COS	排水機場 - ポンプ盤



FI

流入ゲート 過負荷	着水井 水位 異常高	除塵機 過負荷
流入ゲート 地 絡	着水井 水位 異常低	除塵機 地 絡
流入ゲート 過トルク	除塵機 ショックリレー 動作	除塵機 過トルク

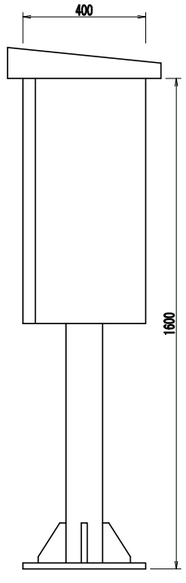
SI

流入ゲート 全 閉	流入ゲート 全 開

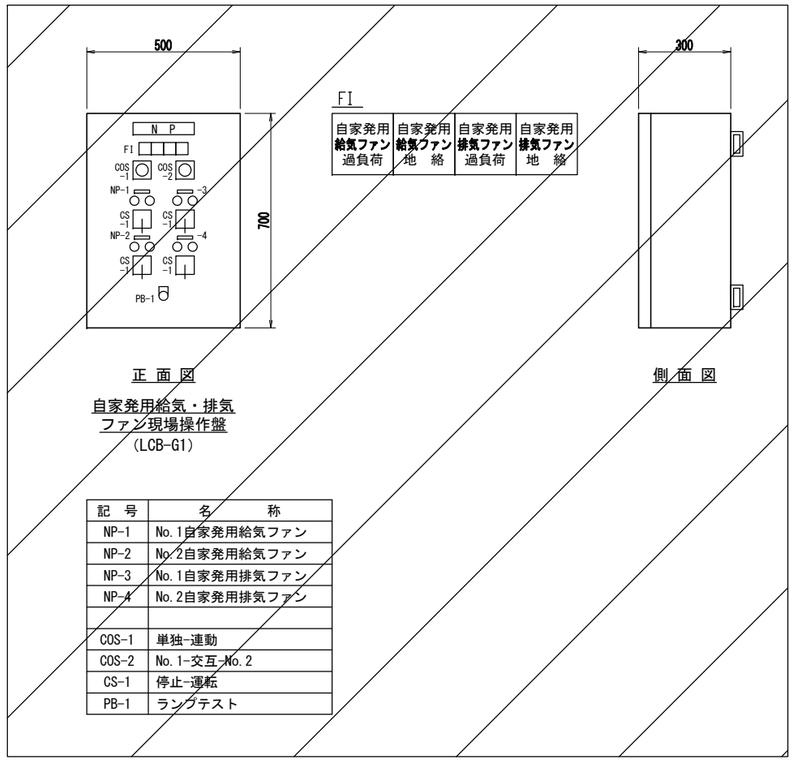
記 号	名 称
NP-1	流入ゲート
NP-2	着水井水位
NP-3	除塵機
COS-1	現場-中央
COS-2	単独-連動
CS-1	閉-停止-開
CS-2	寸逆-停止-運転
PB-1	ランプテスト
PB-2	故障復帰
スナップSW	試験-平常 (盤内)

正 面 図

流入ゲート・除塵機
現場操作盤
(LCB-S1)



側 面 図



FI

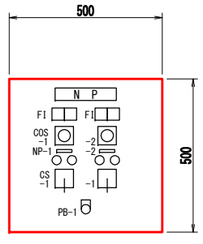
自家発用 給気ファン 過負荷	自家発用 給気ファン 地 絡	自家発用 排気ファン 過負荷	自家発用 排気ファン 地 絡

正 面 図

自家発用給気・排気
ファン現場操作盤
(LCB-G1)

側 面 図

記 号	名 称
NP-1	No.1自家発用給気ファン
NP-2	No.2自家発用給気ファン
NP-3	No.1自家発用排気ファン
NP-4	No.2自家発用排気ファン
COS-1	単独-連動
COS-2	No.1-交互-No.2
CS-1	停止-運転
PB-1	ランプテスト

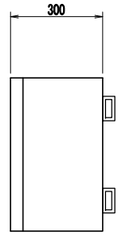


FI

床排水 ポンプ 過負荷	床排水 ポンプ 地 絡

正 面 図

床排水ポンプ
現場操作盤
(LCB-P3)



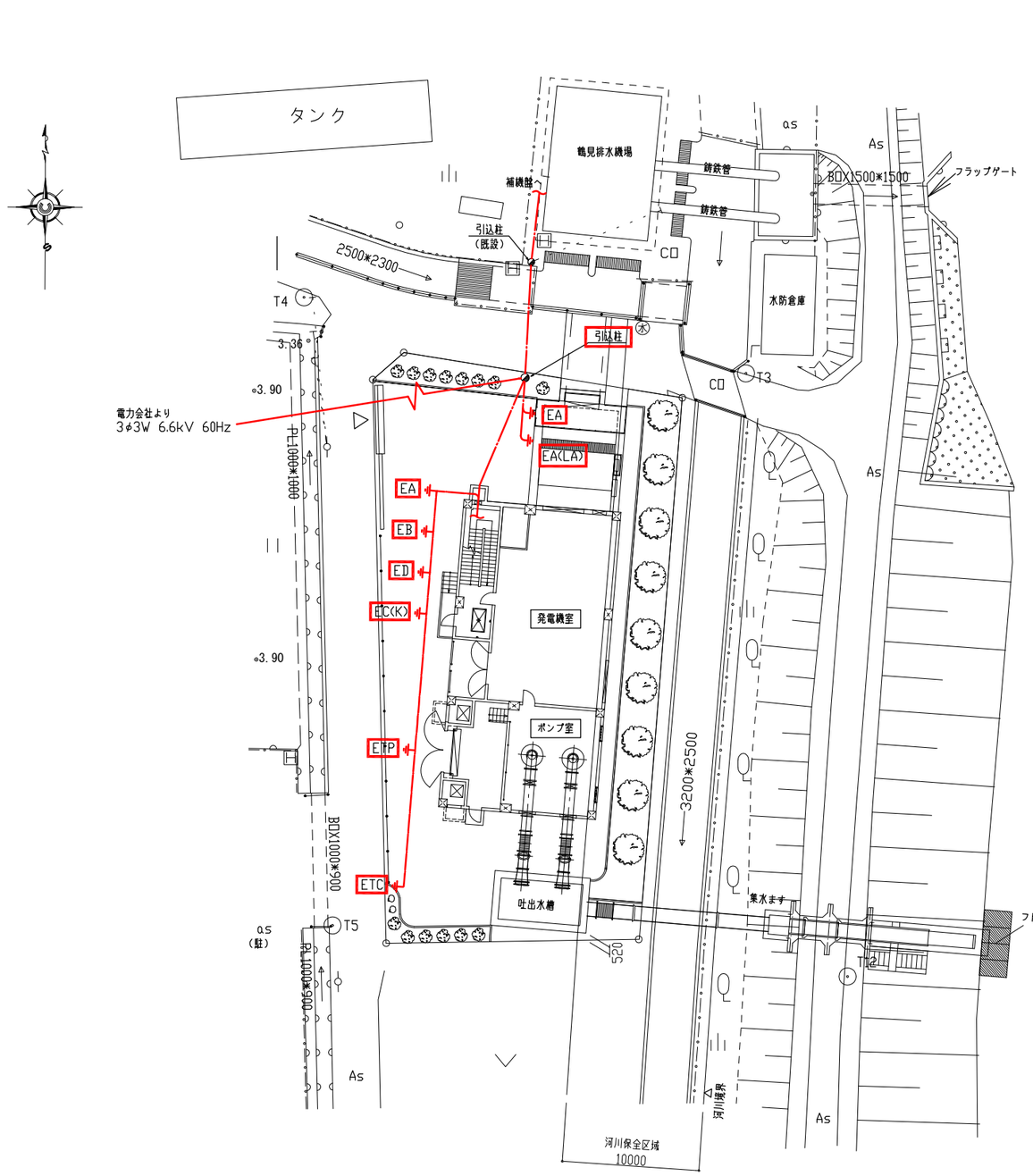
側 面 図

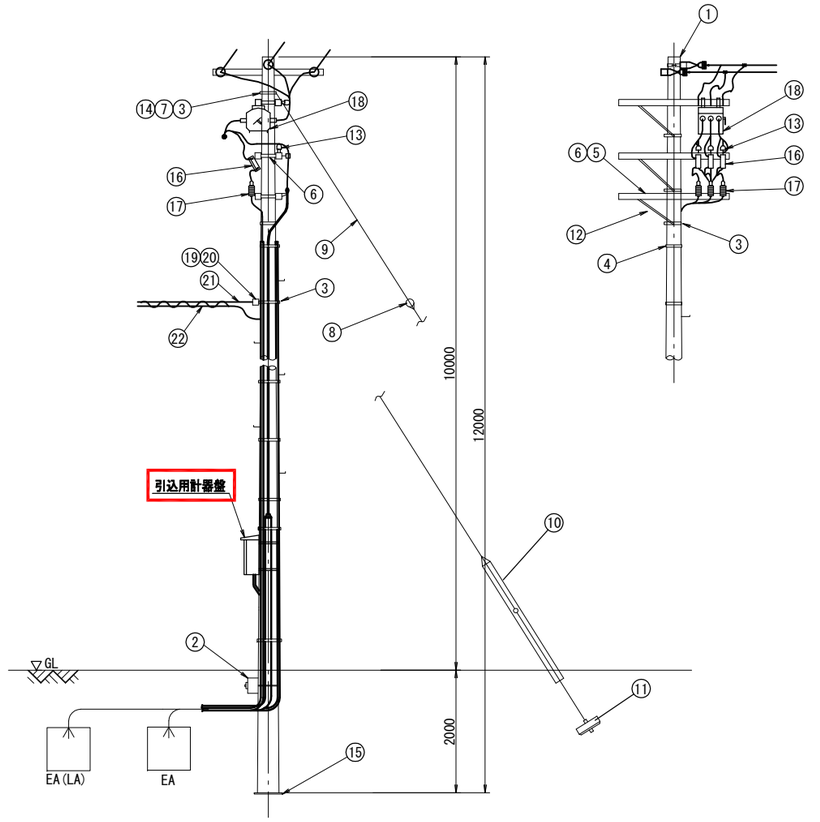
記 号	名 称
NP-1	No.1床排水ポンプ
NP-2	No.2床排水ポンプ
COS-1	手動-自動
COS-2	No.1-交互-No.2
CS-1	停止-運転
PB-1	ランプテスト

注記
1. ：今回を示す。
2. ：将来を示す。
3. 姿図は、参考とする。
4. は機能増設を示す。

工事名	(補) 鶴見ポンプ場建設 (電気) 工事		
図 名	現場操作盤外形図		
縮 尺	1/10	図面番号	E-08

大垣市水道部下水道課





引込装柱図　S=1:50

装柱材料明細（参考）

番号	名　　称	仕　　様		数 量
①	コンクリート柱	12-19-3.5KN	1本	今 回
②	根かせ	1200×240×170	1本	〃
③	バンド	3BD-HD-17	4本	〃
④	自在バンド	IBT-212	5本	〃
⑤	腕　金	1.8ヒ 75×75×1800	6本	〃
⑥	自在バンド	UABD-317	3本	〃
⑦	巻付グリップ	38sq	4本	〃
⑧	玉碍子		1個	〃
⑨	支線	38sq（0.294kg×10m）	2.94kg	〃
⑩	支線ガード		1本	〃
⑪	ステーブロック	ロッド付　3号	1個	〃
⑫	アームタイ	2.3×25×945	6本	〃
⑬	高圧ピン碍子	一般用	3個	〃
⑭	シンブル	38sq用	1個	〃
⑮	底板	450φ	1枚	〃
⑯	プライマリカットアウト	PC-7	3個	〃
⑰	避雷器	8.4KV 5KA	3個	〃
⑱	高圧気中開閉器	7.2KV 300A	1台	〃
⑲	巻付グリップ	22sq	1本	〃
⑳	シンブル	22sq用	1個	〃
㉑	メッセンジャーワイヤー	22sq		〃
㉒	ジョイントハンガー	（1.5m/本）	7本	〃

接地極明細

種別	名　称	接 地 極	接地線・配管
EA	A種接地極（高圧機器用）	CU-900×900×1.5t	IE　60sq（VE28）
EB	B種接地極（変圧器用）	CU-900×900×1.5t	IE　60sq（VE28）
ED	D種接地極（低圧機器用）	CU-900×900×1.5t	IE　60sq（VE28）
EC(K)	C種接地極（計装用）	CU-900×900×1.5t	IE　60sq（VE28）
ETP	試験極（P）	B14-1500L	IE 5.5sq（VE22）
ETC	試験極（C）	B14-1500L	IE 5.5sq（VE22）

接地極材

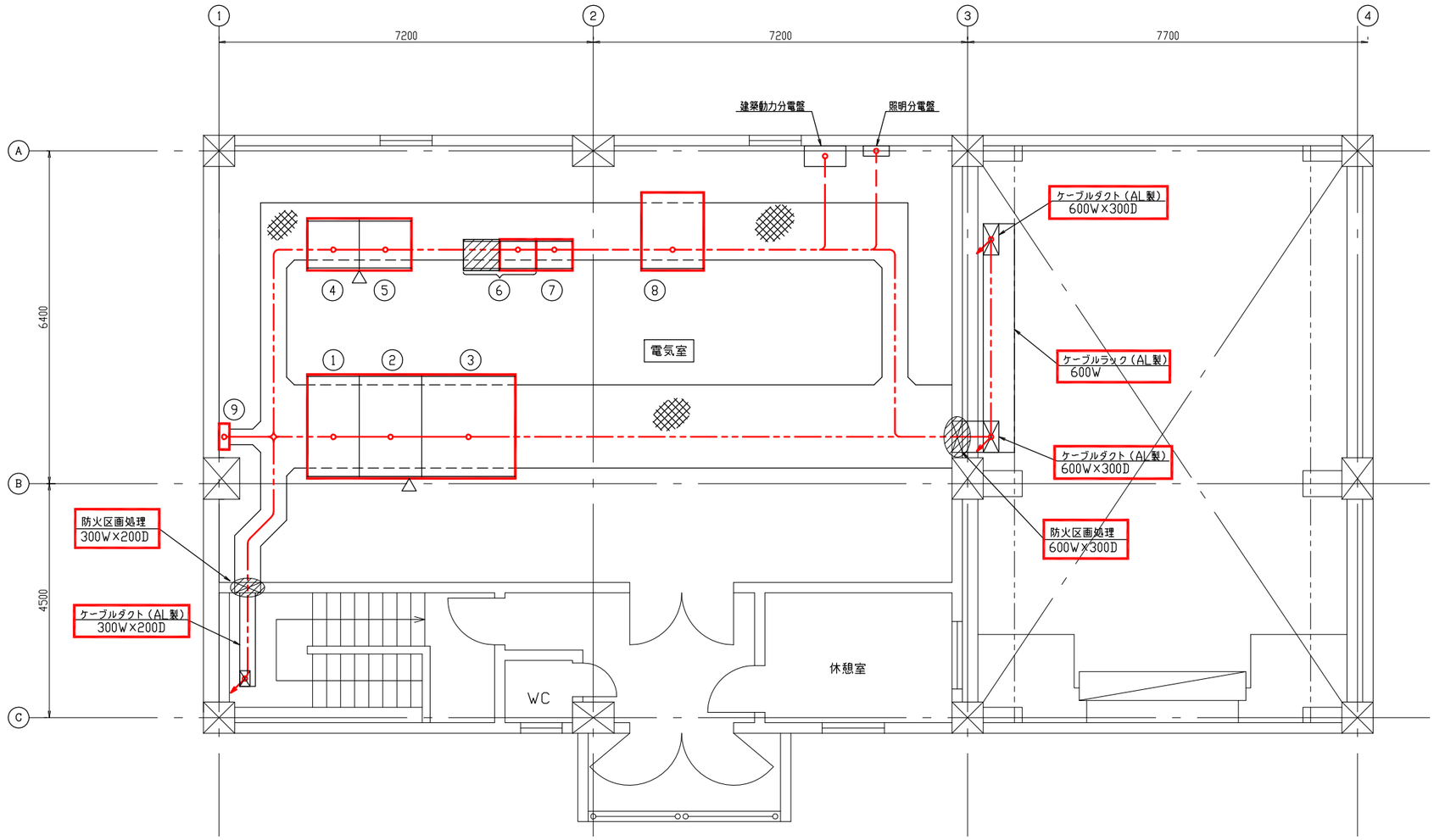
記号	接 地 種 別	極　　材	用　途
EA	第１種接地	CU-900×900×1.5t	**PAS脚金**
EA(LA)	第１種接地	CU-900×900×1.5t	**柱上アレスター**

注 記

1．□は今回を示す。

工事名	（補）鶴見ポンプ場建設（電気）工事		
図　名	全体配線図		
縮　尺	A1：1/200，1/50 A3：1/400，1/100	図面番号	E-09

大垣市水道部下水道課



2階電気室平面図　S＝1／50

機器リスト

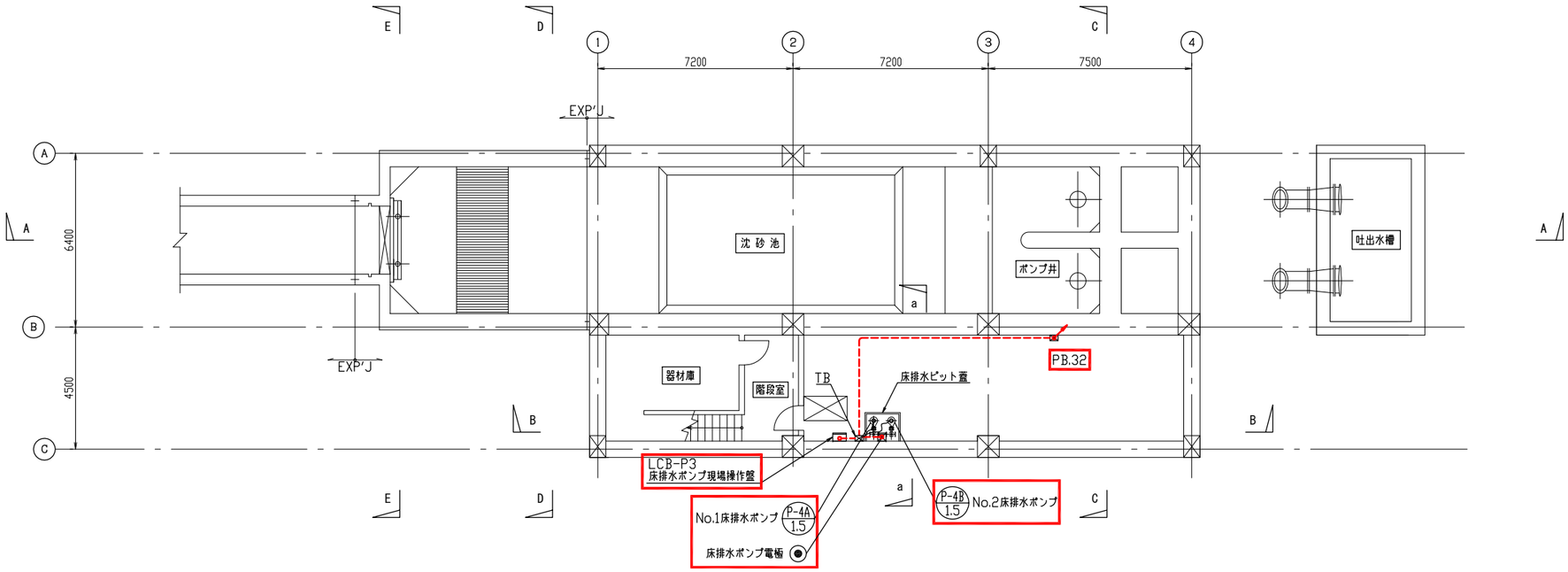
番　号	記　号	盤　名　称	備　考
①	H−1	引込受電盤	今回
②	H−2	変圧器盤	〃
③	L−1	低圧分岐盤	〃
④	MP−1	No.1雨水ポンプ盤	〃
⑤	MP−2	No.2雨水ポンプ盤	〃
⑥	CC−P	雨水ポンプ設備コントロールセンタ	〃（一面将来）
⑦	RY−P	雨水ポンプ設備補助継電器盤	〃
⑧	KP	監視計装盤	〃
⑨	ETB	接地端子盤	〃

注記

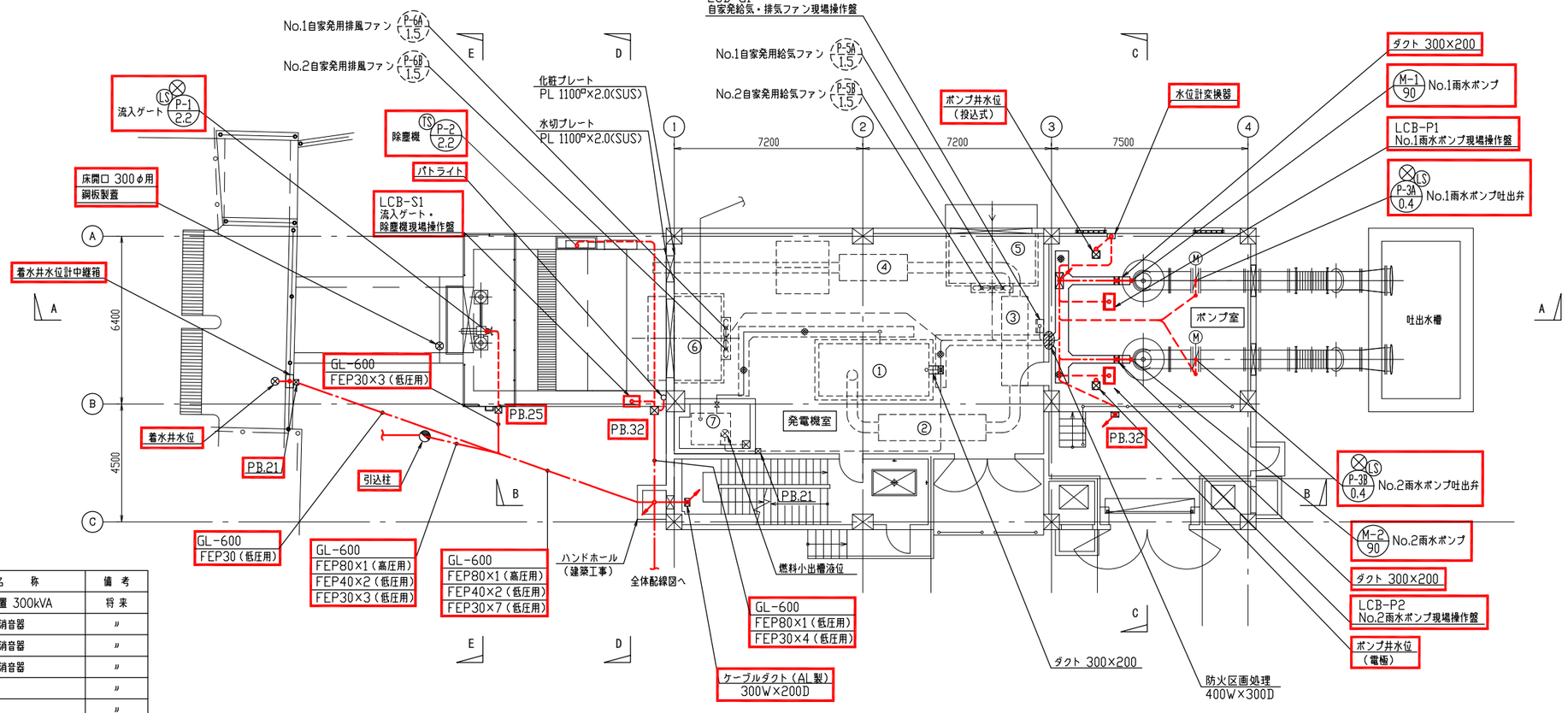
1．□ は今回を示す。

2．▨ は将来を示す。

工事名	（補）鶴見ポンプ場建設（電気）工事		
図　名	２階電気室配線図		
縮　尺	A1：1/50 A3：1/100	図面番号	E−10
大垣市水道部下水道課			



地下1階平面図　S＝1／100



1階平面図　S＝1／100

機器リスト

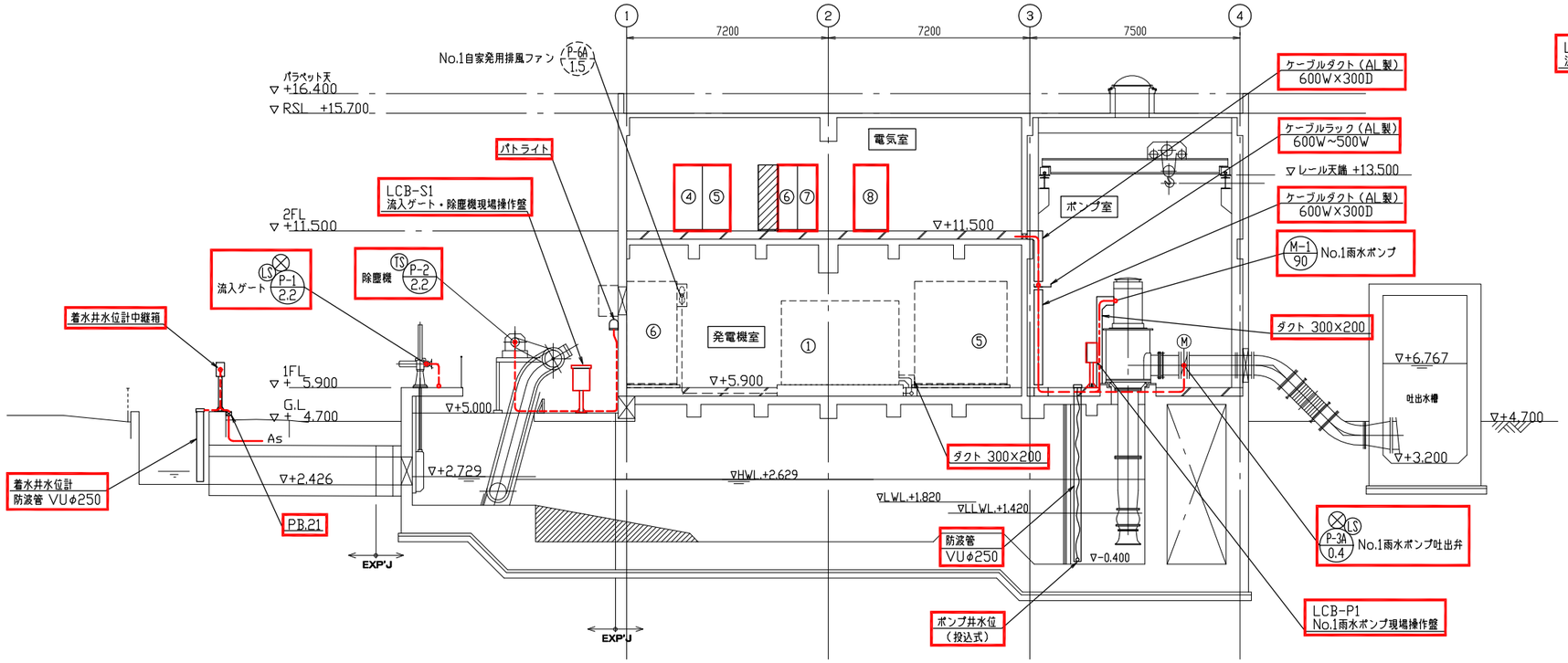
番 号	記 号	名 称	備 考
①	DG	自家発電装置 300kVA	将 来
②		一次排ガス消音器	〃
③		二次排ガス消音器	〃
④		三次排ガス消音器	〃
⑤		給気消音器	〃
⑥		換気消音器	〃
⑦		燃料小出槽　1950L　A重油	〃

注 記

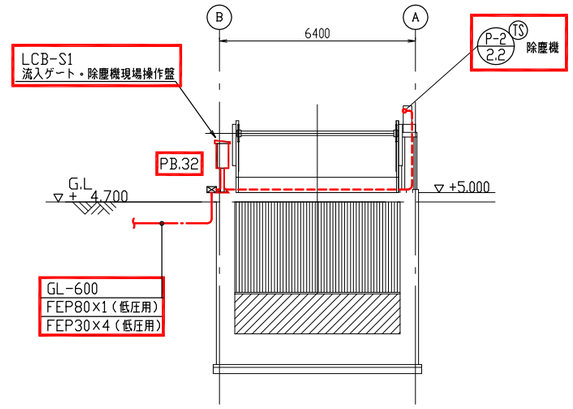
1．□ は今回を示す。
2．□ は将来を示す。
3．プルボックスサイズは下記とする。
（屋外はSUS WP、屋内はVEとする。）
PB.21：200ᵂ×150
PB.25：250ᵂ×200
PB.32：300ᵂ×200

工事名	（補）鶴見ポンプ場建設（電気）工事		
図 名	発電機室・ポンプ室配線図		
縮 尺	A1：1/100 A3：1/200	図面番号	E-11

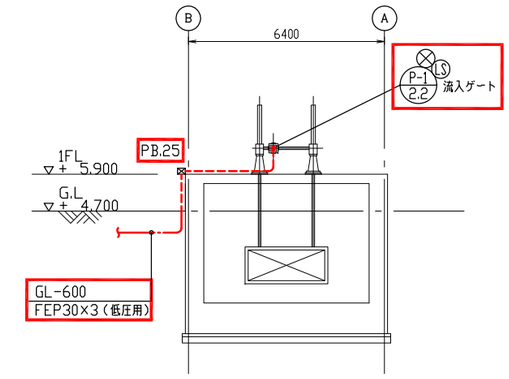
大垣市水道部下水道課



A－A断面図　S＝1／100



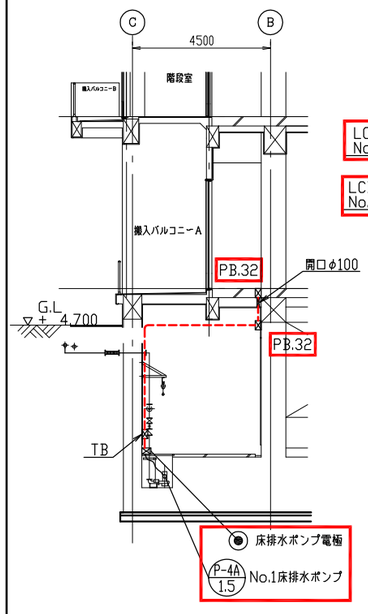
D－D断面図　S＝1／100



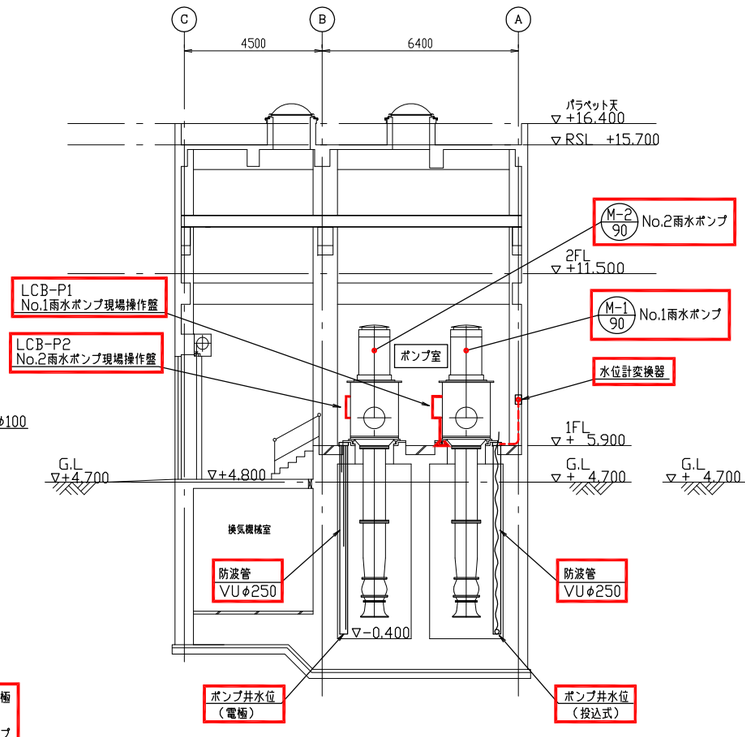
E－E断面図　S＝1／100

注 記

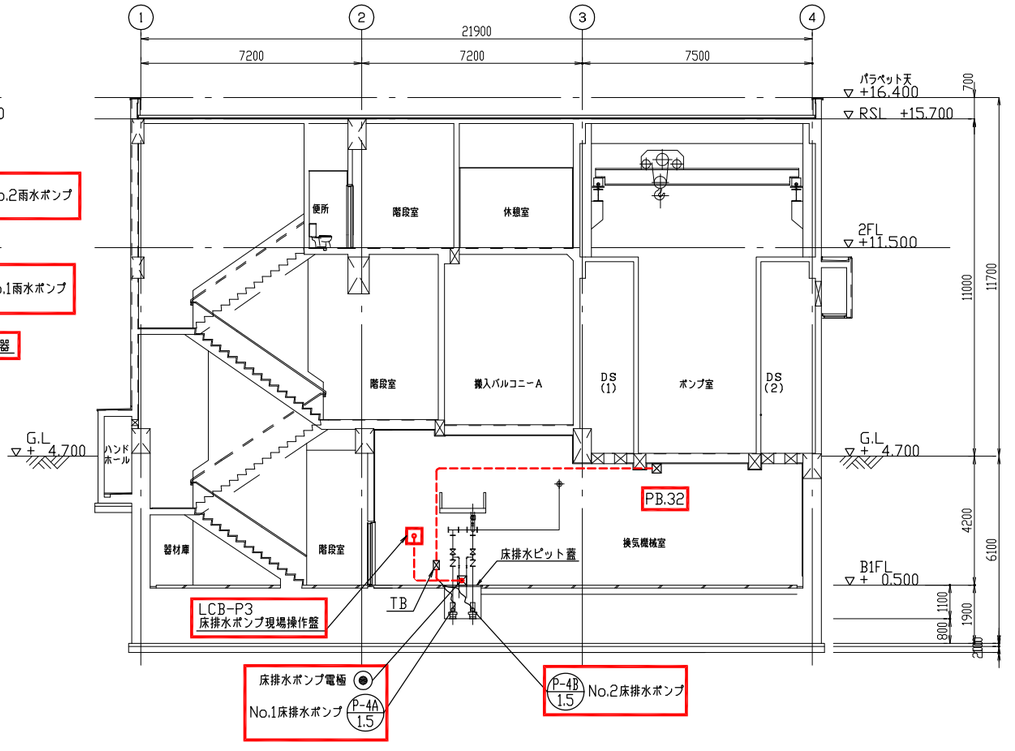
1. ▭ は今回を示す。
2. ┌┄┐ は将来を示す。
3. プルボックスサイズは下記とする。
（屋外はSUS WP、屋内はVEとする。）
PB.21：200ᵂ×150
PB.25：250ᵂ×200
PB.32：300ᵂ×200



a－a断面図　S＝1／100



C－C断面図　S＝1／100



B－B断面図　S＝1／100

機器リスト（電気室）

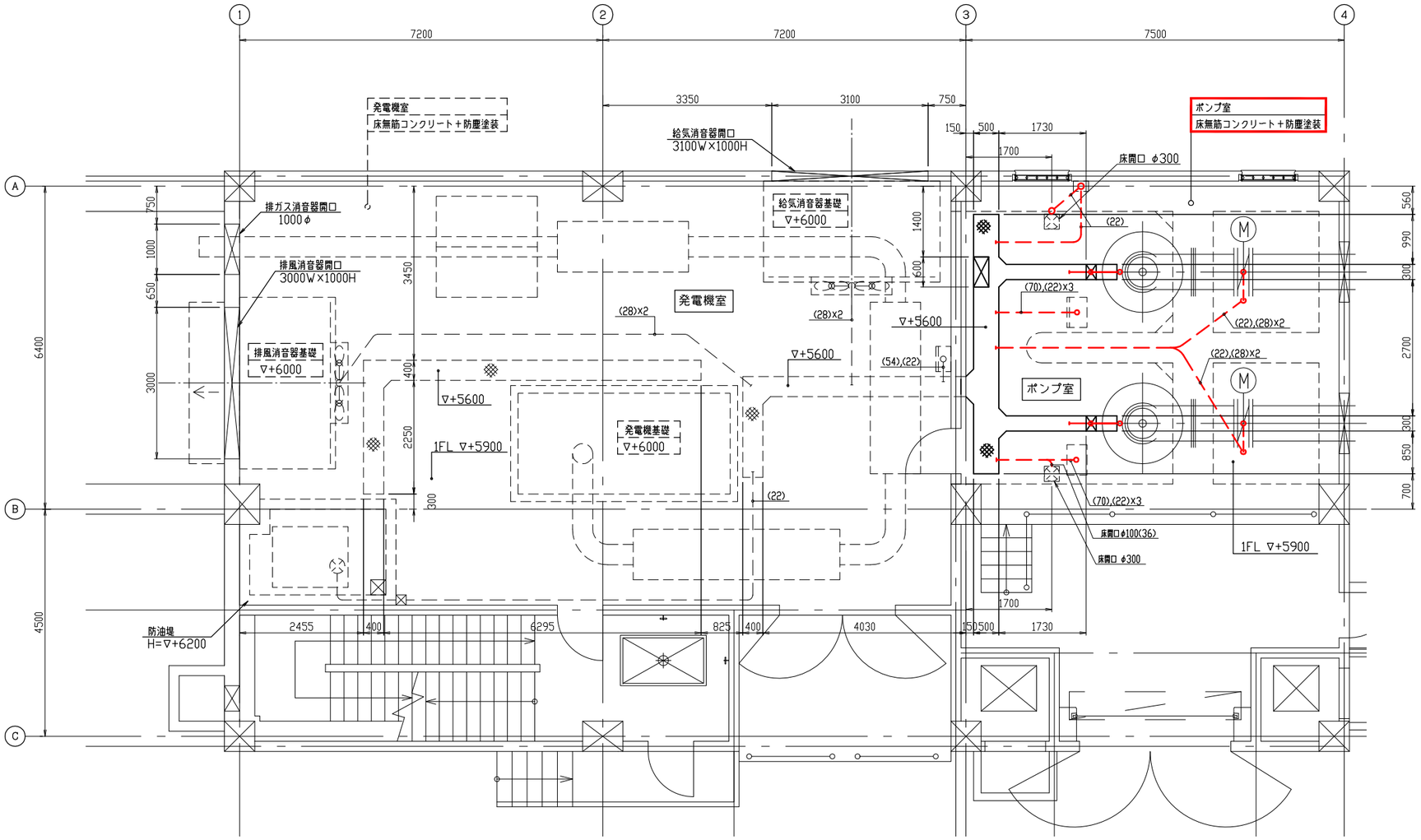
番号	記号	盤名称	備考
①	H-1	引込受電盤	今回
②	H-2	変圧器盤	〃
③	L-1	低圧分岐盤	〃
④	MP-1	No.1雨水ポンプ盤	〃
⑤	MP-2	No.2雨水ポンプ盤	〃
⑥	CC-P	雨水ポンプ設備コントロールセンタ	〃
⑦	RY-P	雨水ポンプ設備補助継電器盤	〃
⑧	KP	監視計装盤	〃
⑨	ETB	接地端子盤	〃

機器リスト（発電機室）

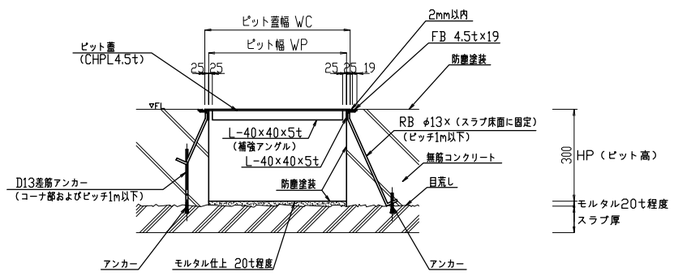
番号	記号	名称	備考
①	DG	自家発電装置 300kVA	将来
②		一次排ガス消音器	〃
③		二次排ガス消音器	〃
④		三次排ガス消音器	〃
⑤		給気消音器	〃
⑥		換気消音器	〃
⑦		燃料小出槽　1950L　A重油	〃

工事名	（補）鶴見ポンプ場建設（電気）工事		
図名	発電機室・ポンプ室断面図		
縮尺	A1：1/100 A3：1/200	図面番号	E-12

大垣市水道部下水道課



1階発電機室・ポンプ室平面図　S＝1／50



配線ピット標準断面図　S＝1／10

注記

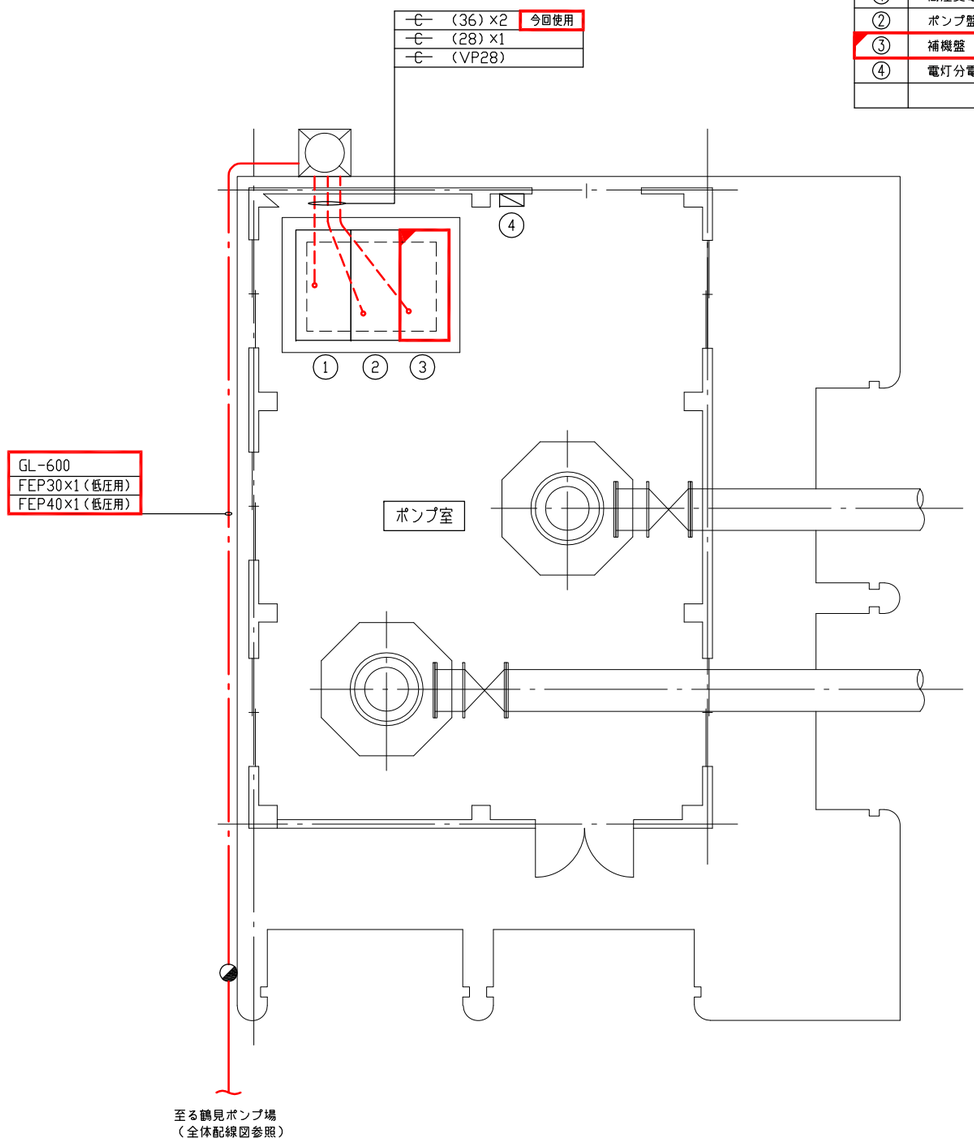
1. ▭ は今回を示す。
2. [二] は将来を示す。
3. ポンプ室床無筋コンクリートは本工事とする。
   発電機室は将来とする。
4. ポンプ室の床面は防塵塗装とする。
   発電機室は将来とする。

工事名	（補）鶴見ポンプ場建設（電気）工事		
図　名	発電機室、ポンプ室基礎、ピット図		
縮　尺	A1：1/50,1/10 A3：1/100,1/20	図面番号	E-13

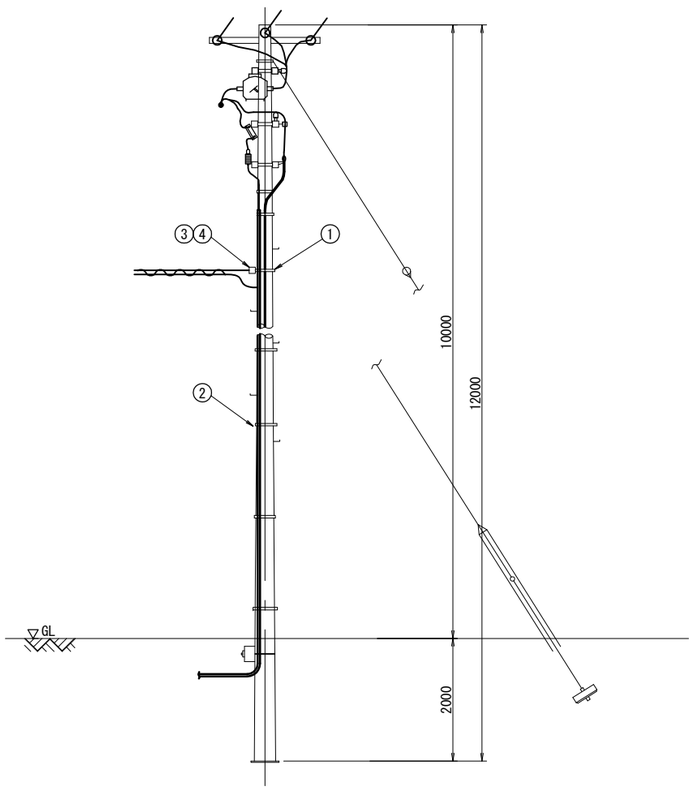
大垣市水道部下水道課

機器リスト

番号	盤名称	備考
①	高圧受電盤	
②	ポンプ盤	
③	補機盤	機能増設
④	電灯分電盤	



1階平面図　S=1/50



引込装柱図　S=1:50
(既設)

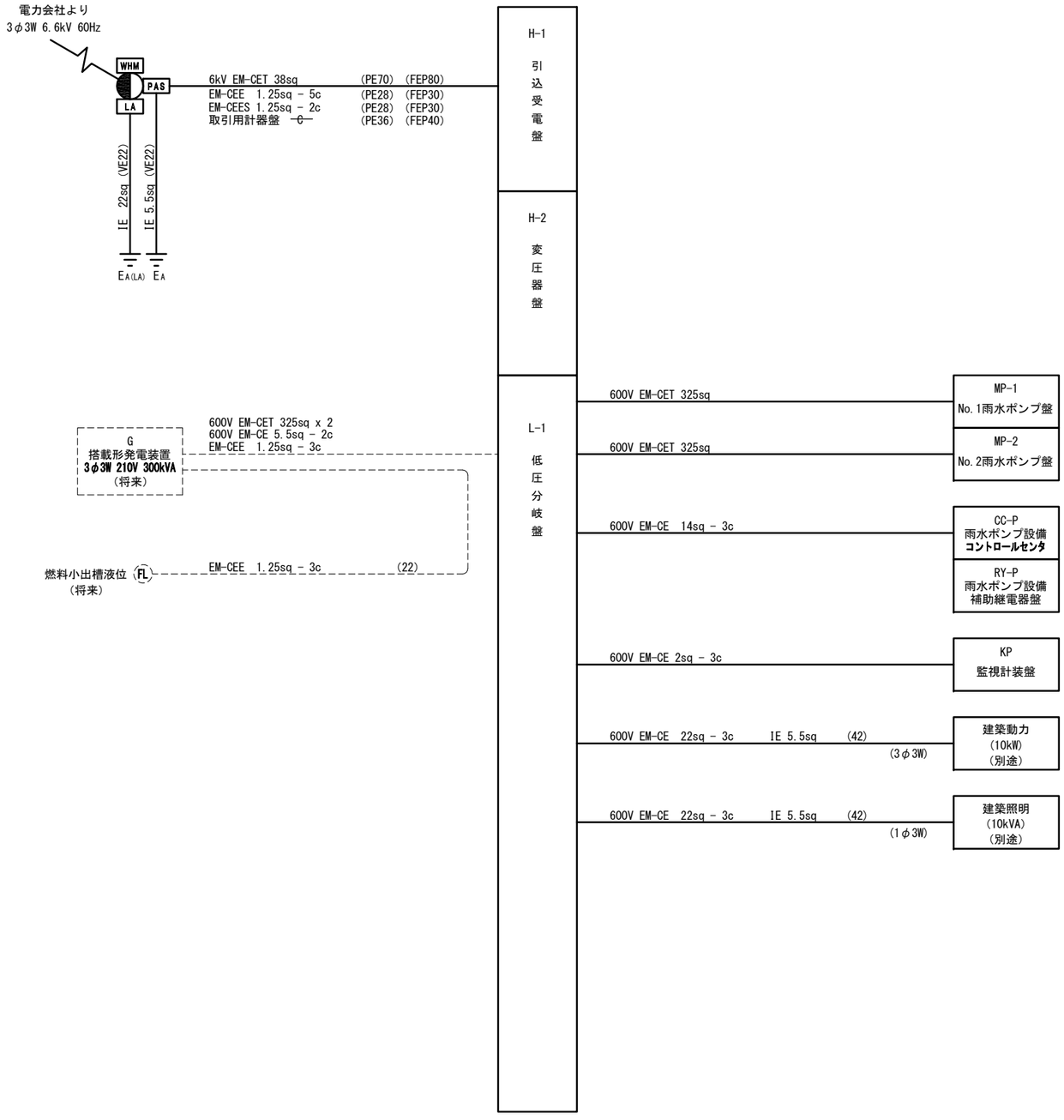
装柱材料明細(参考)

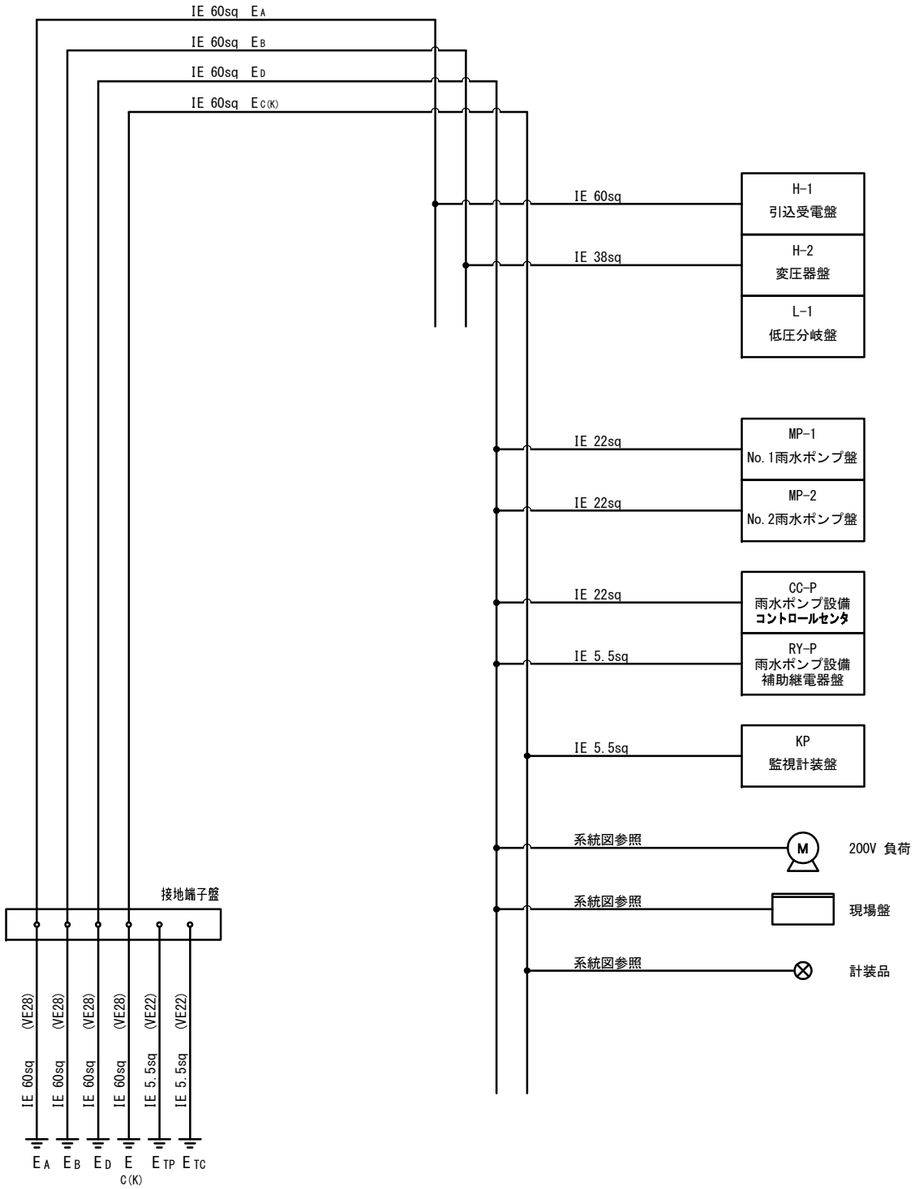
番号	名称	仕様	数量	備考
①	バンド	3BD-HD-17	1本	今回
②	自在バンド	IBT-212	4本	〃
③	巻付グリップ	22sq	1個	〃
④	シンブル	22sq用	1個	〃

注記

1. ▭ は今回を示す。
2. ▭ は機能増設を示す。

工事名	(補) 鶴見ポンプ場建設(電気)工事		
図名	鶴見排水機場配線図		
縮尺	A1: 1/50 A3: 1/100	図面番号	E-14
大垣市水道部下水道課			



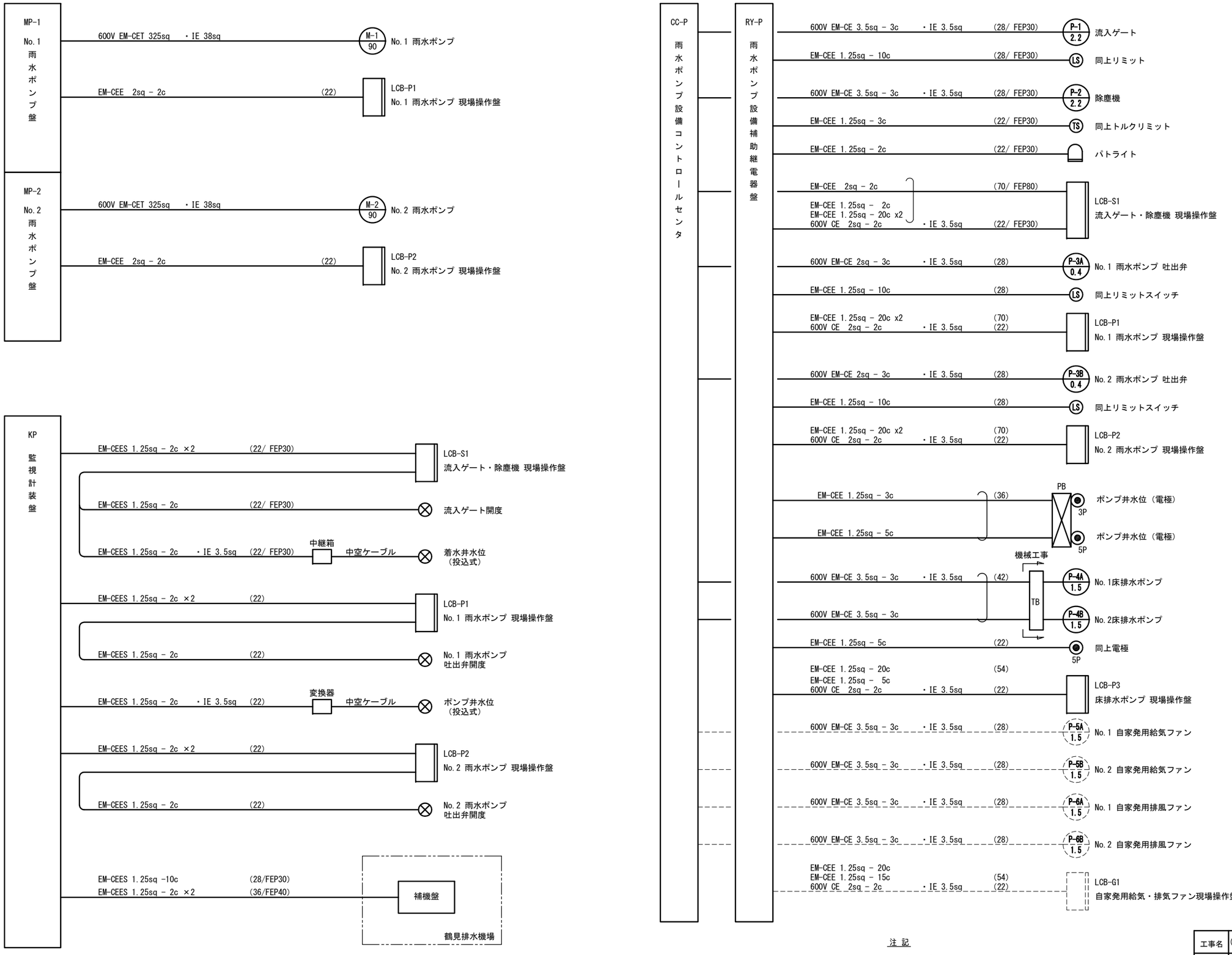


接地系統図

注記

1. 本図は今回を示す。
2. 〔 〕は将来を示す。
3. 屋外露出及び屋内コンクリート内埋込配管は厚鋼電線管とし、その他はHIVEとする。

工事名	(補) 鶴見ポンプ場建設 (電気) 工事		
図 名	配線系統図 (1)		
縮 尺	1/NONE	図面番号	E-15
大垣市水道部下水道課			



注記

1. 本図は今回を示す。
2. ［－－］は将来を示す。
3. 屋外露出及び屋内コンクリート内埋込配管は厚鋼電線管とし、その他はHIVEとする。

工事名	（補）鶴見ポンプ場建設（電気）工事		
図　名	配線系統図（２）		
縮　尺	1/NONE	図面番号	E-16
大垣市水道部下水道課			

工事名称　（補）鶴見ポンプ場建設（電気）工事

建築電気工事
仕　様　書

Ⅰ．工事概要

1．工事場所　　大垣市　　長沢町　　地内

2．　建物概要

建物名称	構造及び階数	高 最高部	延 延面積	消防令の適用	備　考
鶴見ポンプ場	RC造地下1階地上2階		515.45㎡	別表第一（15）項	
				別表第一（　）項	
				別表第一（　）項	
				別表第一（　）項	
				別表第一（　）項	
				別表第一（　）項	

国:国有財産法延面積（㎡）　　建:建築基準法延面積（㎡）

3．工事種目　（○印の付いたものが対象工事）

建物別及び屋外 / 工事種目	雨水ポンプ場						屋外
○ 電灯設備	新設一式						
○ 動力設備	新設一式						
・ 電熱設備							
○ 雷保護設備	新設一式						
・ 受変電設備							
・ 誘導支障設備							
・ 発電設備							
・ 構内情報通信網設備							
○ 構内交換設備	新設一式						
・ 情報表示設備							
・ 拡声設備							
・ 誘導支援設備							
・ テレビ共同受信設備							
・ 監視カメラ設備							
・ トイレ呼出設備							
・ 防犯・入退室管理設備							
○ 自動火災報知設備	新設一式						
・ 中央監視制御設備							
・ 構内配電線路							
・ 構内通信線路							
・ テレビ電波障害防止設備							

4．指定部分　　○ 無　　・ 有
対象部分：

Ⅱ．工事仕様

1．新設工事共通仕様（1．3．工事種目において新設・増設一式とあるもの）

1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（最新版）」（以下、「標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（最新版）」（以下、「標準図」という。）による。

2）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事の仕様書を適用する。
なお、機械設備の工事仕様は（　／　）図、建築工事の工事仕様は（　／　）図による。

2．改修工事共通仕様（1．3．工事種目において改設・撤去一式とあるもの）

1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（最新版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（最新版）」（以下、「標準図」という。）による。

2）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事の仕様書を適用する。
なお、機械設備の工事仕様は（　／　）図、建築工事の工事仕様は（　／　）図による。

3．特記仕様

1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

2）特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものを適用する。

3）東海地震にかかる地震防災対策強化地域における工事にあっては「大規模地震対策特別措置法」による注意情報が発せられた場合、工事請負人は人身の保護及び安全な避難に必要な補強、落下防止等の保全措置を講ずるとともに、工事中断の措置をとること。又この事実が発生した場合は、契約書第 26 条（臨機の措置）によって処理されたものとする。

室	項　目	特　記　事　項
一般事項	① 工事実績情報の登録	登録可能な請負金額の場合：適用する（提出先(財)日本建設情報総合センター）
	② 発生材の処理等について	本工事は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成１２年５月３１日　法律第１０４号）の対象建設工事であり、分別解体、特定建設資材の再資源化等について適切な処置を行なう。ただし、工事契約後にやむをえない事情により予定した条件により難い場合は監督職員と協議を行う。 尚、分別解体・再資源化の完了時に、以下の事項を書面にて監督職員に報告する。 再資源化等が完了した年月日 再資源化等をした施設の名称及び所在地 再資源化等に要した費用 （1）分別解体の方法
	③ 建設副産物情報交換システム	本工事は「建設副産物情報交換システム」を活用する。総合施工計画作成時、工事完了時、及び登録情報に変更が生じた場合、速やかに当該システムにデータ入力を行う。また、同システムにより工事着手時に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を、工事完了時に同計画書の実施報告書（書式は同一）を作成し、監督職員に提出する。
	④ 概成工期	総合試運転を行う上で、関連工事を含めた各工事が工期の概ね１０日前までに支障の無い状況までに完了していること。
	⑤ 電気保安技術者	~~市町村立整備用制定の道路工事の保安規程第７条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、~~ 電気工作物の保安業務を行うものとする。
	⑥ 事故報告	工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通報するとともに、事故発生報告書を監督職員に速やかに提出すること。

（1）分別解体の方法

工　程	作業内容	分別解体の方法
・ 改修 ・ 増築 ・ 修繕 ・ 模様替	建築設備工事 ・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業・機械作業併用

（2）特定建設資材廃棄物の種類と再資源化等をする施設

特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等をする施設名称	所　在　地
・ コンクリート		
・ コンクリート及び塊から成る建設資材		
・ 木材		
・ アスファルト・コンクリート		

室	項　目	特　記　事　項
共通事項	1．監督職員事務所	・ 設けない　　・設ける（　号）　　・既存建物利用
	2．建設発生土の処分	・ 構内散きならし　　・ 構外搬出（片道運搬距離　約　　ｋｍ） 構外搬出の搬出先は監督職員と協議による。
	③ 足場・桟橋類	○ 別契約の関係請負者の定置する足場、桟橋の類は、無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。ただし、枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」（厚生労働省平成１５年４月）により、設置については同ガイドラインに基づく働きやすい安心感のある足場とし、二段手すりと幅木の機能を有する部材があらかじめ備えられた手すり先行専用足場型とするか、または改善措置機材を用いて手すり先行専用足場型と同等の機能を確保する。
	④ 工事区分	図面に特記無き場合は、別図「工事区分表」による。
	⑤ 機器取付高さ	図面に特記無き場合は、表－２「機器標準取付高さ」による。
	⑥ 接地極	図面に特記無き接地極は、表－３「接地極一覧表」による。
	7．接地調査	敷地内の３箇所において、大地抵抗率の測定及び試験電極施工による接地抵抗の測定を次により行い、その報告書を監督職員に提出する。
	⑧ 電源周波数	○ ６０Ｈｚ　　・　５０Ｈｚ
	⑨ 電線類	使用する電線類は、次に示す記号及び規格による。
	⑩ 合成樹脂管配線	合成樹脂製可とう電線管（ＰＦ管）及び付属品は、タイプ－２５のものを使用する。なお、電力用位置ボックス類は原則として合成樹脂製とするが、コンクリート打ち込み部分は金属製としても良い。ただし、金属製とする場合は当該ボックスには接地を施すものとする。
	⑪ 薄鋼電線管	薄鋼電線管は表示されているものと同一外形のねじなし電線管を使用しても良い。

測定種別	測　定　方　法
大地抵抗率	大地抵抗率測定器（ウェンナーの４電極法によるもの）を用いて行う。
接地抵抗	直径１４ｍｍ、長さ１５００ｍｍの接地棒を打ち込み、JIS C1304（接地抵抗計）に規定するものを用いて行う。

（報告書：大地抵抗率測定表及び解析グラフ、接地設計、工事写真等）

記　号	規　　格
EM－FP－C	JCS 4506「低圧耐火ケーブル」
EM－HP	JCS 3501「小勢力回路用耐熱電線」
EM－OCT	JCS 4512「600V耐燃性ポリオレフィンキャブタイヤケーブル」
EM－UTP	JCS 5503「耐燃性ポリオレフィンシースLAN用非シールドツイストペアケーブル」

室	項　目	特　記　事　項
共通事項	⑦ 機材等	1）本工事に使用する設備機材等は、設計図書（「追記・一般事項　1．設備機材等」を含む。）に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 2）化学物質を放散させる建築材料等 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の（1）から（5）を満たすものとする。 （1）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 （2）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 （3）接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 （4）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 （5）上記（1）、（3）及び（4）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを放散させないものとは放散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものをいい、原則として規制対象外のものを使用する。ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用する。 また、「ホルムアルデヒドの放散量」は次のとおりとする。
	⑧ 機材の品質・性能証明	設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料のうち、「標準仕様書に定める品質及び性能」を有することの証明となる資料は、監督職員の承諾を受けることにより、外部機関が発行する証明資料の写しとすることができる。
	9．室内空気中の化学物質の濃度測定	室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、監督職員に報告する。測定はパッシブ型採取機器により行う。 <測定時期>　・ 工事着手前　　・ 施工終了時 <測定対象室>　・ 図示 <測定箇所>　・ 図示
	⑩ 機器姿図	姿図の形状及び寸法は、概略を示す。
	11．電気工事士	最大電力 500 kW 以上の場合においても、第一種電気工事士により施工を行う。
	⑫ 工事用電力、水その他	本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて請負者の負担とする。
	⑬ 施工図等	工事が完成（指定部分に係わる完成を除く）したときは、本工事で作成する施工図等のうち、下記の原図及び複写図（1 部）を監督職員に提出する。ただし、製作図等で原図として提出ができないものは、原図に代わるものとしてよい。 なお、施工図等の著作権に係わる該当建物に限る使用権は、発注者に移譲する。 機器製作図　－ 式　　試験成績書　－ 式 制御システム図　－ 式　　機器・配管配線施工図　－ 式
	⑭ 完成図等	○提出要　○ 設計図ＣＡＤデータ使用　・ 既存完成図修正）　・提出不要 提出部数等は監督職員と協議による。

室	項　目	特　記　事　項
共通事項	⑫ 電線本数・管路等	分電盤、制御盤、端子盤などの二次側以降の配管経路、電線の太さ、電線本数、管径等は監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。ただし、相違する場合は監督職員の承諾を受ける。
	⑬ 金属管の塗装	次の露出配管は、塗装を行う。 （○　屋外○・　屋内　　）
	⑭ 保護管	ケーブル配線の保護管は、標準仕様書の金属管配線、合成樹脂管配線の項による。
	15．最上階の埋め込み配管	最上階の天井スラブへの埋め込み配管は、原則として避けるものとする。
	⑯ 呼び線	長さ 1m 以上の入線しない電線管には、1.2mm 以上の呼び線を挿入する。
	⑰ フラッシュプレート	フラッシュプレートは、図面に特記なき場合は次による。 ○ 金属製（ステンレス、新金属も含む）　　・ 樹脂製
	18．地中配線の埋設深さ等	地中配線で、特記なき埋設深さは 0.6m 以上とする。また、地中配線には埋設シート（1/2 重ね）を設ける。
	19．ハンドホールの蓋	ハンドホール等の蓋重は、鋳型流し込みで用途名を表示する。 構内配電線路の用途名　（・ 電力　・ 通信　） 構内通信線路の用途名　（・ 通信　・　）
	20．電力・電話の引き込み	電力及び電話引き込み線の引留方法、位置については電力会社及び電気通信事業者と打ち合わせのうえ監督職員と協議により施工する。また、外構工事負担金などの調査報告を監督職員に速やかに行う。
	21．耐震措置	設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針　2005年版」（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修）による。 （1）設計用水平地震力は機器重量に、次に示す設計用水平震度を乗じたものとする。 <施設区分>　・ 特定の施設　　○ 一般の施設 <重要機器>　○ 配電盤　　・ 発電装置 ・ 直流電源装置　　・ 交流無停電電源装置 ・ 交換機　　・ 火災報知設備 ・ 中央監視制御装置　・ <上層階の定義>　２ ～ ６ 階建ての場合は最上階、７ ～ ９ 階建ての場合は上層 2 階、10 ～ 12 階建ての場合は上層 3 階、13 階建て以上の場合は上層 4 階

局部震度法による建築設備機器（水槽を除く）の設計用水平震度

設置場所	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階・屋上及び塔屋	2.0（2.0）	1.5（2.0）	1.5（2.0）	1.0（1.5）
中間階	1.5（1.5）	1.0（1.5）	1.0（1.5）	0.6（1.0）
1階及び地下階	1.0（1.0）	0.6（1.0）	0.6（1.0）	0.4（0.6）

局部震度法による水槽類の設計用水平震度

設置場所	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階・屋上及び塔屋	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	1.5	1.0	1.0	0.6
1階及び地下階	1.5	1.0	1.0	0.6

注）（ ）内数値は、防震支持の機器の場合に適用する。

（2）設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の 1/2 とし、水平地震力と同時に働くものとする。

室	項　目	特　記　事　項
電力・受変電・発電	① 照明制御総合動作試験	照明制御の総合動作試験は次に示す事項について行い、監督職員に試験成績書を提出し、承諾をうける。 ・ 目標照度設定のための各調光センサー（夜間及び日中） ・ 在不在制御機能の動作及び動作時間設定のための調光人感センサー ・ タイムスケジュール制御における点滅及び調光制御の動作確認 ・ 外光センサーによる点滅及び調光制御のための動作確認 ※上記試験項目は全数確認とする。
	② 蛍光灯安定器・ランプ	図面に特記なき場合は、表－４「蛍光灯器具の安定器の種類」による。
	3．コンセント	発電機回路に接続されるコンセントは、原則として赤色とする。
	4．電動機等の接地	金属管配線において、電動機容量 7.5ｋＷ 以下は金属管を接地線とする。
	5．インバータ装置の規約効率	三相可変速運転用インバータ装置の規約効率は、次の数値以上とする。

電動機出力（kW）	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11
インバータ効率（%）	85.0	87.0	88.5	89.5	90.0	90.5	91.0	91.5

電動機出力（kW）	15	18.5	22	30	37	45		
インバータ効率（%）	92.0	92.5	93.0	93.5	94.0	94.5		

（1）電動機の供給電圧は２００Ｖ又は４００Ｖとする。
（2）インバータ効率は、１００％負荷時の値とする。

	⑥ 分電盤・実験盤	本工事の分電盤で、分岐に用いる配線用遮断器及び漏電遮断器の寸法と定格は、JIS C 8370「配線用遮断器」による。
	7．自家発電設備の配管工事等	原動機・発電機と付属各機器間の燃料油、冷却水などの配管、制御用配線は監督職員の承諾を受けて多少相違しても差し支えない。
	⑧ 設備機器容量等	本工事及び別契約の関連工事において設備機器容量等が相違する場合は、関連する設備の施工及び機器製作前に監督職員と協議し、指示を受けること。
通信情報	① 局線	局線の新増設移転の手続きは、本工事とする。
	2．電界強度の測定	最上階フロアのコンクリート打設前に、受信電波の電界強度測定を 3 か所以上行うこと。また、その報告書を監督職員まで提出すること。
改修一般事項	1．施　工　調　査	事前調査（・ 本工事 ・ 別途工事） 調査項目（・ 既設設備・　　） 調査範囲（・ 図示 ・　　） 調査方法（・ 図示 ・　　）
	2．仮　設　備	仮設備項目（・ 受変電 ・ 発電 ・　　） 仮設備期間（・ 図示 ・　　）
	3．養　　生	養生範囲（・ 図示　　）　養生方法（・ シート等　）
	4．は　つ　り	既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、図面に特記のない場合はダイヤモンドカッターによる。
	5．非破壊調査等	非破壊調査等による埋設物の調査（・ 要 ・ 不要）とする。 なお、範囲は監督職員の指示によるものとし、費用は別途とする。
	6．特定建設資材廃棄物以外の発生材の処理等	・ 引き渡しを要するもの　（・ 金属類 ・ 盤類 ・ 電線、ケーブル ） ・ 特別管理産業廃棄物　（・ ＰＣＢ使用機器 ・　　・　　） ・ 特別管理産業廃棄物の処理方法 ・ＰＣＢ使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 ※ 照明器具安定器にＰＣＢが使用されている場合は、安定器を本体より分離し金属箱に収納し表示を付して建物管理者に引き渡す（報告書共）。 ・ 再生資源化を図るもの　（・ 蛍光ランプ ・　　・　　） ・ 引渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とし、搬出処理費は別途とする。
	7．既設との取り合い	本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は、本工事とする。

表－１　「機器標準取付高さ」

	名　称	測　点	取付高さ（mm）
電灯共通	取引用計器	床上一芯中心	1,800～2,000
	引込開閉器	床上一芯中心	1,800～2,200
電灯	分電盤	床上一芯中心	1,500
		（上限1,900以下）	
	スイッチ	床上一芯中心	1,300
	スイッチ　（多目的便所）	床上一芯中心	1,100
	スイッチ　（自動ドア）	床上一芯中心	1,800
コンセント	（一般）	床上一芯中心	300
	（配管）	床上一芯中心	150
	（台上）	台上一芯中心	150 ～ 200
	（上面）	床上一芯中心	500
	（外壁・屋外）	地上一芯中心	800
ブラケット	（一般）	床上一芯中心	2,100～2,300
	（誘導）	床上一芯中心	2,000～2,500
	（遠上）	最上階一芯中心	150
動力	壁操制御盤	床上一芯中心	1,500
		（上限1,900以下）	
	手元開閉器	床上一芯中心	1,500
	操作スイッチ	床上一芯中心	1,300
構内交換	室内端子盤	床上一下端	300
	集合受安器箱	天井下一上端	200
	壁付電話機	床上一芯中心	1,300
時計	壁付制御時計	床上一芯中心	1,500 （上限1,900以下）
	子時計	床上一芯中心	天井高×0.9
拡声	壁取扱スピーカ	床上一芯中心	天井高×0.9
	壁付アッテネータ	床上一芯中心	1,300

	名　称	測　点	取付高さ（mm）
出退・マルチサイン	表示盤	床上一芯中心	天井高×0.9
	壁付警報器	床上一芯中心	1,300
	ベル・ブザー・チャイム	床上一芯中心	2,300
	壁付押ボタン　（一般）	床上一芯中心	1,300
誘導支援	外部受付用ひかり子機	標準図による	
	壁付ひかり(上記以外)	床上一芯中心	1,300
	押ボタン(小弁出用)	床上一芯中心	900
	押ボタン(小弁出用)	床上一芯中心	300
テレビ共同受信	壁端子　(一般)	床上一芯中心	1,500～1,800
	機器収容箱	天井下一上端	200
	直列ユニット　（一般）	床上一芯中心	300
	直列ユニット　（配管）	床上一芯中心	150
火災報知	受信機・副受信機	床上一操作部	800～1,500
	機器収容箱・表信機	床上一芯中心	800～1,500
	ベル	床上一芯中心	2,300
	表示灯	床上一芯中心	2,100
	差込石油ガス用検知器	床上一上端	300

備考
注）1．天井高 3,000 以上の場合は、監督職員と協議する。
2．意匠に関係する部分（正面玄関・玄関ホール・ＥＶホール・上級室・会議室）の取付位置は、監督職員と協議する。
3．表は原則とし、施工前に監督職員の承諾を受ける。

表－２　「接地極一覧表」

接地の種類	記　号	接地抵抗値	接地極の規格・数量
・ 共用接地	Ｅ Ａ ・ Ｂ ・ Ｃ ・ Ｄ	Ω以下	Ｅ Ｂ（D=14 又は W=40）×３ 連 － 組
・ 共用接地	Ｅ Ａ ・ Ｃ ・ Ｄ	Ω以下	Ｅ Ｂ（D=14 又は W=40）×３ 連 － 組
・ Ａ種	Ｅ Ａ	10 Ω以下	Ｅ Ｂ（D=14 又は W=40）×３ 連 － 2 組
・ Ｂ種	Ｅ Ｂ	Ω以下	Ｅ Ｂ（D=14 又は W=40）×３ 連 － 組
・ Ｃ種	Ｅ Ｃ	Ω以下	Ｅ Ｂ（D=14 又は W=40）×３ 連 － 組
・ Ｄ種	Ｅ Ｄ	100 Ω以下	Ｅ Ｂ（D=14 又は W=40）×３ 連 － 1 組
・ Ｄ種	Ｅ Ｄ	Ω以下	Ｅ Ｂ（D=10 又は W=30）×１
・ 雷保護用	Ｅ ＬＡ	Ω以下	Ｅ Ｂ（D=14 又は W=40）× 連 － 組 又は ＥＰ－0.6×2
・ 高圧避雷器	Ｅ ＬＨ	10 Ω以下	Ｅ Ｂ（D=14 又は W=40）×３ 連 － 2 組
・ 交換機用	Ｅ Ａ	Ω以下	Ｅ Ｂ（D=14 又は W=40）×３ 連 － 組
・ 通信用	Ｅ Ａ1	10 Ω以下	Ｅ Ｂ（D=14 又は W=40）×３ 連 － 2 組
・ 通信用	Ｅ Ｄ1	100 Ω以下	Ｅ Ｂ（D=10 又は W=30）×１
○ 電話引込口の保安器用	Ｅ Ｄ1	100 Ω以下	Ｅ Ｂ（D=10 又は W=30）×１
・ 測定用	Ｅ Ｄ	100 Ω以下	Ｅ Ｂ（D=10 又は W=30）×１
・ 構造体接地		Ω以下	
・ 等電位接地		Ω以下	

注）ＥＢで D=14Φ 場合は L=1500 とし、W=40Φ の場合は L=1200、W=30Φ 場合は L=900 とする。

表－３　「蛍光灯器具の安定器の種類」

蛍　光　灯　の　種　類		安定器の種類	電　圧
コンパクト形	Ｈｆ形　Ｐ３２形	PN、PR、PM、PX	100/200V
	Ｈｆ形　Ｐ４５形	PN、PX	100/200V
	Ｈｆ形　Ｈ１６形　Ｈ２４形　Ｈ３２形	PN	100/200V
	Ｈｆ形　Ｈ４２形	PX	100/200V
Ｈｆ直管形	Ｈｆ１６形	PH、PX	100/200V
	Ｈｆ３２形	PW、PK、PN PJ、PX、PZ	100/200V
高周波誘導灯		EL	100V

Ⅲ．その他

1．図面上の記号・凡例は特記なき場合は次による。

1）幹線及び分岐回路記号は下記による。

幹　線　等　記　号

記　号	名　称	記　号	名　称	記　号	名　称
ＬＬ	低圧電灯	ＴＥＬ	電　話	ＩＮ	誘導支援
ＬＰ	低圧動力	Ｓ	放　声	ＴＶ	ﾃﾚﾋﾞ共同受信
ＨＰ	高圧電力	Ｃ	電気時計	Ｆ	自動火災報知
ＯＡ	ＯＡ電源	Ｉ	表　示	ＦＳ	自動閉鎖

分　岐　回　路　記　号

電源種別	１φ１００Ｖ			１φ２００Ｖ			３φ２００Ｖ		
一般回路	①	②	③	◇	◇	◇	Ｔ	Ｚ	３
非常用回路	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	◇	◇	◇	Ａ	Ｂ	Ｃ
非常用照明回路	①	Ⓑ	Ⓐ						

2）倹配に△のある室名は、スラブ天井の部屋を示す。

3）倹配に○のある室名は、ＯＡフロアの部屋を示す。

工事箇所	大垣市　長沢町　地内
工 事 名	（補）鶴見ポンプ場建設（電気）工事
図 面 名	建築電気設備　特記仕様書(1)　／　縮　尺　A1：－　A3：－
大垣市水道部下水道課	図面番号　AE－01

提　出　書　類　表

	項　目	部　数			
着工時	着　工　届	1			
	現場代理人届及び（専任）主任技術者届（経歴書を添え事前に監督員の承諾を受ける）	1			
	工程表（ﾈｯﾄﾜｰｸと出来高予定を含む）　※契約後10日以内	1			
	総合施工計画書　※再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を添付	2			
	設計図 A4 製本（A3 2ヶ折）　※入札前の質疑回答書も入れる	－			
	各種保険証書等（建設工事保険、火災保険、組立保険及び第三者損害補償責任保険） ※火災保険（建物内工事開始日～工期+14日）	1			
工事中	工事に必要な官公署等への届出	1			
	指示・承諾・協議・提出・報告書、打合せ記録	2			
	月間工程表、週間工程表、打合せ記録 ※週間工程表には休日・夜間作業内容及び時間も明記	1			
	施工図、施工要領書、機器製作図、試験検査記録書、JIS規格証明書、 使用資材及び機器検査承諾願、資材試験表	2			
	施工体制台帳（写し）	1			
	施工体系図	1			
	月毎の工事履行報告書（出来形率、工程表、写真）	－			
	部分払い関係書類（出来形届、内訳書、写真、請求書）	－			
	設計変更見積書　※監督員の指示がある場合	1			
完成時 支払用	完成届	1			
	請求書	1			
	完成写真（着工前・完成） ※ﾄﾚｰｼﾝｸﾞﾍﾟｰﾊﾟｰ付（完成写真の方に色付け、撤去部分：青、新設部分：赤）	1			
完成図書綴込用	完成写真（着工前・完成）、工事写真（着工前～工事中～完成）	1			
	実施工程表	1			
	完成図（設計図訂正）	1			
	機器完成図	1			
	各種試験結果記録表	1			
	検査調書、保証書及び主資材出荷証明書	1			
	再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書 ※書類及び提出用ﾃﾞｰﾀ（LZH圧縮ﾌｧｲﾙ形式、計画書・実施書を併せて提出）	1			
	建設廃棄物処理委託契約書（写し）	1			
	建設業退職金共済組合掛金収納書、またはその他の退職金制度での加入証明書	1			
	工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況報告書	1			
	保全に関する説明書（取扱説明書及び保守管理要領参考資料）	1			
	社内検査報告書及び建築課検査報告書	1			
その他	図面製本 A4（A3 2ヶ折）：（●完成図：設計図修正　○施工図）（○ｶﾗｰ　●ﾓﾉｸﾛ）	1			
	図面ﾃﾞｰﾀ：（●完成図：設計図修正　●施工図）	1			
	鍵目録と鍵（ｷｰｲﾝﾃﾅﾝｽﾎﾞｯｸｽに収納：建築主体のみ）	－			
	産業廃棄物管理票（ﾏﾆﾌｪｽﾄE票）	提示			
	安全管理実施報告書（使用機械・工具・車両等の点検等、過積載防止の記録等） 及び安全教育実施報告書（安全巡視、TBM、KY、新規入場者教育等）	提示			

（１）図面及び提出書類のﾃﾞｰﾀは完成時にまとめてUSBﾒﾓﾘにて提出すること。

（２）監督員の指示する書類については期限までに提出すること。

（３）監督員の指示がある場合は、書類収納用のﾌﾟﾗｽﾁｯｸｹｰｽ（市指定）を併せて提出すること。

特　記　仕　様

○ 設計図書
本工事は下記の設計図書に基づき施工する。その適用に当っての優先順位は次の番号順とする。
（１）質疑応答書及び追記事項　（２）特記仕様書　（３）設計図書
（４）共通仕様書及び標準（詳細）図の最新版（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修及び制定－社団法人営繕協会編集）

○ 官公署その他への手続き
工事の完成に必要な官公署その他への手続きは、施工者の責任に於てすみやかに行う。

○ 周知用看板
本工事の周知広報のため、建築工事にて製作の看板に本工事内容を書き込む。詳細は監督員の指示による。

○ 安全管理
工事施工者は災害公害及び危険防止のため、関係法規の定まるところに従い充分な策を講じ工事を行う。
他に損害を与えた場合の補修・補償は施工者の負担とする。（損害等の因果関係を明確にするため事前事後調査を行うこと）
また、工事中に発生した公害及び近隣よりの苦情に対しては施工者において解決すること。大型車両搬出入時にガードマン等の配備を考慮すること。

○ 係員
仕様書中の「係員」又は「監督員」とは建築主の定める監督員又はその代理人とする。

○ 現場代理人及び主任技術者もしくは専任監理技術者
現場代理人は、現場管理能力を有するものとする。主任技術者もしくは監理技術者は専任とし建設業法上の資格を有し、施工技術上の経験及び能力を有するものとする。

○ 請負業者承認願及び使用材料承認願
工事の一部を第三者に委任し、請負せる場合は、その下請工事者及び使用材料について文章にて事前に届け出るものとする。

○ 引き渡し
工事目的物完成による引渡しに当たっては、施工者は社内検査を行い合格後諸官公署・建築主の竣工検査を受け、必要書類、物品と共に引き渡し、その後の適正な運用に協力する。

○ 保証
１）工事完成引き渡し後、定められた保証期間内に、材料の不良または施工の不備に起因する故障または破損を生じた場合はすみやかに処理または交換を行う。

２）工事完了引き渡し後、定められた保証期間内に、係員立合いの下で、工事全般にわたり再検査を行う。
この検査の結果発見された、材料の不良または施工の不備に起因する故障または破損については係員と協議の上その処理を行う。その費用は施工者の負担とする。
かし担保期間　　・建築　２年　　・電気　２年　　・機械　２年

○ 軽微な変更
各部の納まり取り合い等の関係で材料の寸法取付位置　取付方法などを多少変更しまたは取付数量を幾分増減するなどの軽微な変更は、係員と協議の上その指示に従う。
この場合請負金額の増減はしない。

○ 別途工事との協力と調整
工事を完成するために密接に関係する別途工事については、施工者は別途工事の施工に協力すると共に、円満な工事推捗が行われるように調整協力を行う。
別途工事との調整にあたって係員より指示のある場合はこれに従うと共に、円満な工事進捗が行われるように調整を行う。

○ 契約約款の補足事項
１）火災保険　第三者に損害を与えた場合及び工事目的物、工事材料に損害を被った場合の保証を目的とする損害保険、建設工事保険等に加入すること。

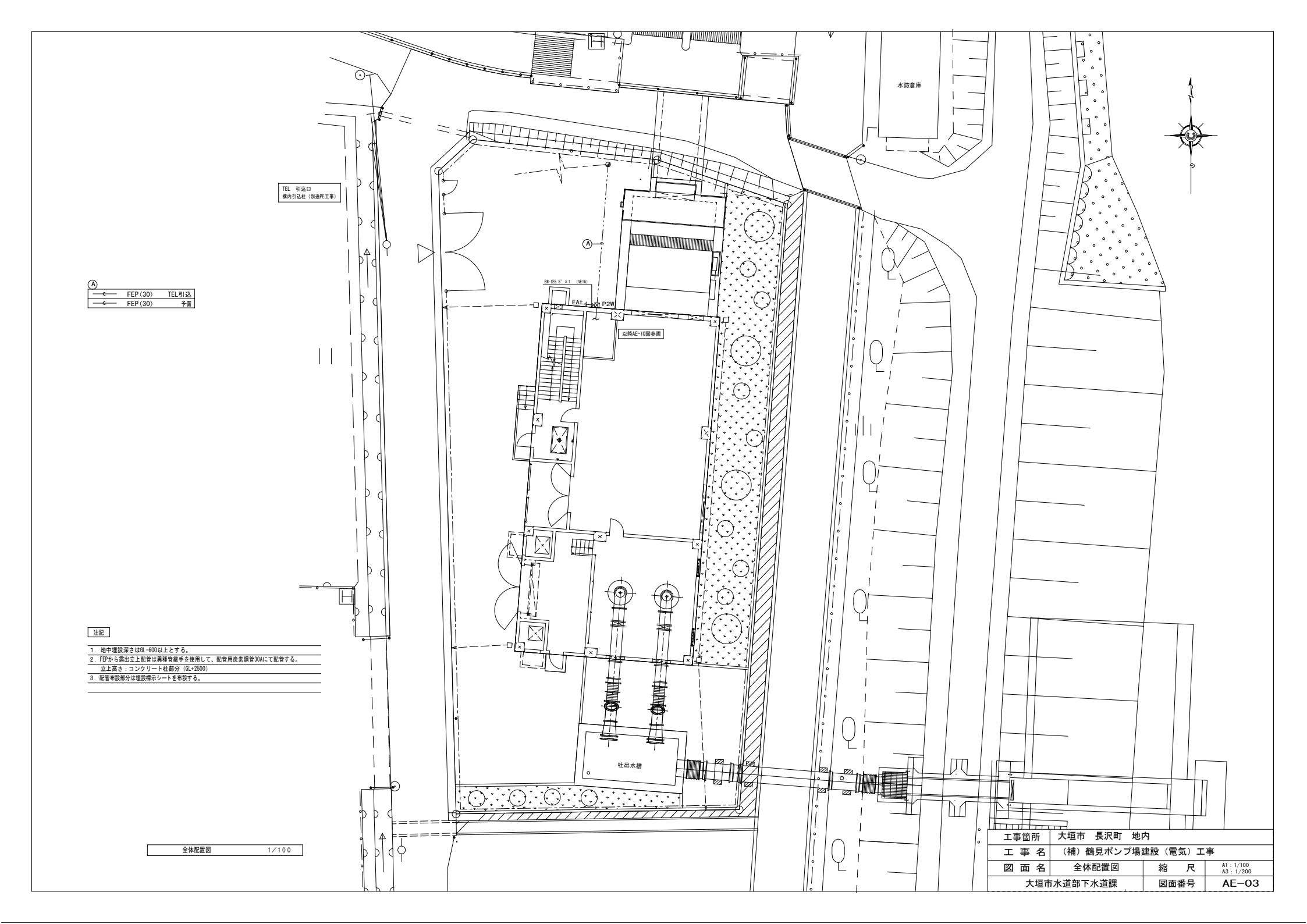
２）現場確認　入札に際し事前に現場確認が必要な場合は大垣市役所総務部契約課工事契約グループへその旨の連絡を行なうこと。

３）中間技術検査
請負金額が5,000万円を超えるときは「大垣市中間検査要項」及び(1.6.2)に基づき中間技術検査を実施する。
回数は第１期工事　第２期工事共各１回程度とし、時期は検査権者の指定するものとする。なお、中間技術検査は、部分払いの対象としない。

４）本工事の下請け業務及び建設資材等の購入において市内業者を活用するよう務めること。

○ その他
１）本工事の施工中、敷地内及び周辺道路の汚損等がないよう充分配慮すること。また汚損した場合は、清掃修復を行う。
２）下請業者及び使用材料の選定にあたっては、所定の資格及び規格等を満足する市内業者・地元製品を優先的に採用すること。
３）施工にあたり、「自らが立案実施した創意工夫や技術力に関する項目」、「地域社会への貢献として評価できる項目」について、市所定書式にて提出することができる。
４）図中「取外し」「再取付」とは同位置の取外し及び復旧のみならず別位置への取付け（移設）を含む表記とする。
５）本工事では、現場敷地内には現場事務所等は設置できないものとする。
６）本工事の発生材の処理は「建築工事に係る資材の再資源化等に関する法律」「産廃物の処理及び清掃に関する法律」等に準ずること。
尚、工事完了時には上記契約書の複写および管理表（マニフェスト）、その状況報告書等を市監督員に提出すること。
７）本工事の施工期間は、平成27年10月1日～平成28年3月6日とする。

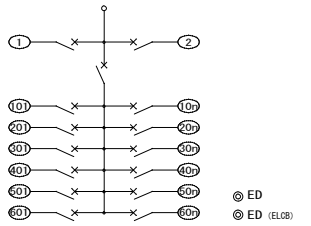
工事箇所	大垣市　長沢町　地内		
工事名	（補）鶴見ポンプ場建設（電気）工事		
図面名	建築電気設備　特記仕様書(2)	縮　尺	A1：－ A3：－
大垣市水道部下水道課		図面番号	AE－02



工事箇所	大垣市　長沢町　地内		
工 事 名	（補）鶴見ポンプ場建設（電気）工事		
図 面 名	全体配置図	縮　尺	A1：1/100 A3：1/200
大垣市水道部下水道課		図面番号	AE−03

電灯動力盤リスト

分電盤参考結線図



分電盤仕様注記

共用分電盤

1. 各分電盤内にはE−D、E−D（ELCB）の各アース端子を取付ける事。
2. 盤形式について特記なきは、屋内露出型（壁振又は自立型・扉無し）とする。
3. MCCBの2Pタイプは、JIS C 8370 電灯分電盤用協約形1Pサイズと同等のものとし、100Vは2P1E、200Vは2P2Eとする。
4. ELCBの定格感度電流は、30mA、動作時間は0.1秒以内とする。
5. 盤内のセパレータは、1.6t 以上の鋼板とする。
6. 盤止めの回路のMCCBは、協約形2Pタイプ（ネジ止め端子）とする。

凡例

記号	名称	備考
⊣×⊢	MCCB	
① ~	AC1φ100V 自動火災報知器、非常放送他	
⑩① ~	AC1φ100V 照明回路	
⑳① ~	AC1φ200V 照明回路	
㉚① ~	AC1φ100V コンセント回路	
㊵① ~	AC1φ200V コンセント回路	
㊿① ~	AC1φ100V 空調室内機回路	
⑥⓪① ~	AC1φ200V 空調室内機回路	

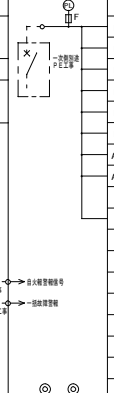
分電盤名称	回路種別主開閉器	回路No	分岐開閉器	電圧(V)	負荷容量(VA)	リモコンリレー	用途	備考
LM−1 2F 電気室 屋内露出型T形 1φ3W 200/100V		①	MCCB 2P 50/20	100	30		誘導灯	ロックキャップ付
		②	MCCB 2P 50/20	100	100		自火報受信機	ロックキャップ付
					(130)			
	MCCB 3P 100AF/60AT	101	MCCB 2P 50/20	100	370		休憩室 WC	
		102	MCCB 2P 50/20	100	−		予備	
		201	MCCB 2P 50/20	200	580		地下1階 換気機械室 屋外室	
		202	ELCB 2P 50/20	200	800		1階 発電機室 ポンプ室	
		203	MCCB 2P 50/20	200	900		1階 発電機室 ポンプ室	
		204	MCCB 2P 50/20	200	1280		2階 電気室	
		205	MCCB 2P 50/20	200	400		階段灯	
		206	ELCB 2P 50/20	200	70		外壁灯	
		207	MCCB 2P 50/20	200	−		予備	
					(4,400)			
		301	ELCB 2P 50/20	100	400		1階 発電機室 ポンプ室	
		302	MCCB 2P 50/20	100	200		2階 電気室	
		303	MCCB 2P 50/20	100	300		2階 休憩室	
		304	MCCB 2P 50/20	100	100		2階 倉庫	
		305	MCCB 2P 50/20	100	−		予備	
		306	MCCB 2P 50/20	100	−		予備	
					(1,000)			
		501	ELCB 2P 50/20	100	630		2階 電気室 HEA−1	
		502	ELCB 2P 50/20	100	130		2階 休憩室 HEA−2	
		601	ELCB 2P 50/20	200	1560		2階 休憩室 ACP−2	
		602	MCCB 2P 50/20	200	−		予備	
					(2,320)			

計 7,850 VA

◎ ED
◎ ED (ELCB)

動力盤リスト

形式		幹線番号	主開閉器 電気方式	分岐回路 負荷記号	分岐遮断機	負荷名	容量(kw)	連動	単位装置 始動方式	操作制御方式	操作制御スイッチ	警報盤表示 巻停	故障	水位	200mm	備考	配線サイズ	配管サイズ
設置場所	2F 電気室		3φ3W200V															
盤記号	LM−1			FS−1	MCCB 3P 50/30	給気ファン（ポンプ室給気系統）	2.2		L	4−1AB	Ti				○	24ｈタイムスイッチ組込	EM−IE1.6x4	HIVE16
盤形式	屋内露出型 T形			FE−1	MCCB 3P 50/30	排気ファン（ポンプ室排気系統）	2.2		L	4−1AB	I				○		EM−IE1.6x4	HIVE16
電源種別	3φ3W200V			FS−2	MCCB 3P 50/15	給気ファン（換気機械室・器材庫給気系統）	0.4		L	4−1AB	Ti				○	24ｈタイムスイッチ組込	EM−IE1.6x4	HIVE16
負荷合計容量(KW)	18.78 kw			FE−2	MCCB 3P 50/15	排気ファン（換気機械室・器材庫排気系統）	0.4		L	4−1AB	I				○		EM−IE1.6x4	HIVE16
				FS−3	MCCB 3P 50/15	給気ファン（発電機室給気系統）	0.3		L	4−1AB	Ti				○	24ｈタイムスイッチ組込	EM−IE1.6x4	HIVE16
				FE−3	MCCB 3P 50/15	排気ファン（発電機室排気系統）	0.3		L	4−1AB	I				○		EM−IE1.6x4	HIVE16
				ACP−1	ELCB 3P 100/75	パッケージエアコン（電気室系統）	6.49		−	−	−						EM−CET14sq E5.5	HIVE36 G36
				ACP−1	ELCB 3P 100/75	パッケージエアコン（電気室系統）	6.49		−	−	−						EM−CET14sq E5.5	HIVE36 G36
					MCCB 2P 50/20	制御電源			−	−	−							



特記
1. 電灯盤と動力盤の間にはセパレーターを設けること。
2. 火災受信機からの警報信号ケーブルEM−CEE1.25sq−2C（HIVE16）を見込むこと。

照明器具姿図

A	反射傘付	(FSR2)
A322	FHF32Wx2	FSR2−322PH

B	トラフ	(FSS8)
B321	FHF32Wx1	FSS8−321PH

C	片反射傘付	(FBS5)
C321	FHF32Wx1	FBS5−321PH

D	逆富士	(FSS9)
D161	FHF16Wx1	FSS9−161PH
D321W	FHF32Wx1	FSS9MP−321PH
D322	FHF32Wx2	FSS9−322PH
D321K	FHF32Wx1	K1−FSS9−321PH (電池内蔵)

E	投光器	(HPJ1W)
E250	MF250Wx1	HPJ1W−250M

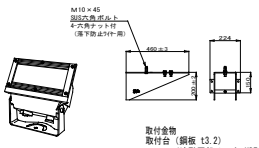
D321K（FSG41088F）
FHF32EX−N−H　　K0082726

器具取付高さ		2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m
単体配置	A1	5.6m	5.8	6.0	6.2	6.5	6.5	6.4
	B1	3.9m	4.1	4.2	4.4	4.7	4.9	4.8
直線配置	A2	14.2m	14.8	15.2	15.8	17.1	17.9	18.3
	B2	9.4m	9.9	10.3	10.9	12.1	12.9	13.5
四角配置	A4	13.9m	14.4	14.5	15.2	16.2	17.2	17.8
	B4	9.4m	9.9	10.3	10.9	12.1	12.9	13.5

D321K（壁付の場合）

取付高さ				1.5m	2.0m	2.5m	3.0m	4.0m	5.0m
階段配置	Y=1.5m	2Lx	X+	3.3m	3.6	3.8	3.9	4.1	4.1
			X−	2.6m	2.9	3.3	3.5	3.7	3.9
		1Lx	X+	4.5m	4.9	5.2	5.4	5.7	6.0
	Y=2.0m	2Lx	X+	2.9m	3.2	3.5	3.7	3.9	3.8
			X−	2.3m	2.7	3.0	3.3	3.5	3.7
		1Lx	X+	4.2m	4.6	4.9	5.2	5.6	5.8

F	LED 5900LM	
F200	電源ユニット内蔵型	



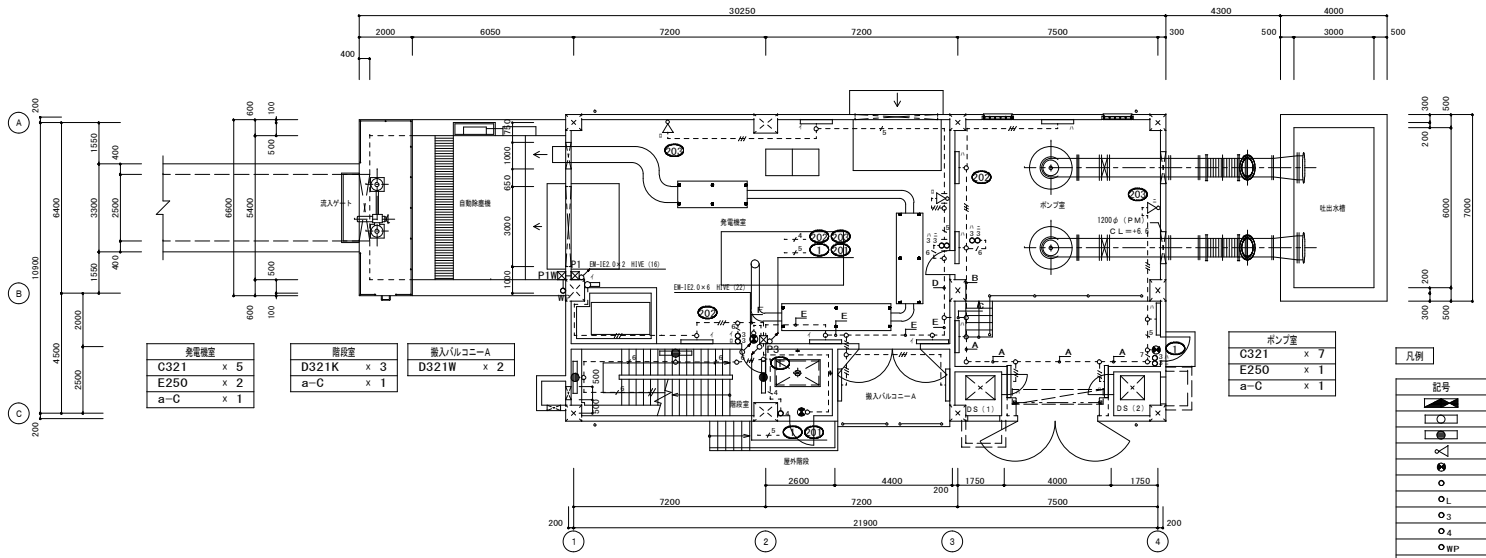
D322K	FHF32Wx1	K1−FSS9−322PH (電池内蔵)

D322K（FSG42001F）
FHF32EX−N−H　　K0082720

器具取付高さ		2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m
単体配置	A1	6.1m	6.3	6.4	6.6	6.9	7.0	6.9
	A'1	5.1m	5.3	5.4	5.5	5.7	5.9	6.0
	B1	4.2m	4.4	4.6	4.8	5.2	5.4	5.4
直線配置	A2	14.0m	14.7	15.2	15.8	16.8	17.4	17.8
	B2	10.2m	10.8	11.2	11.8	13.2	14.1	14.8
四角配置	A4	13.2m	13.8	14.2	15.2	16.2	16.7	17.1
	B4	10.2m	10.7	10.9	11.1	12.2	13.3	14.2

a	誘導灯	(SH1−FBF)
a−C	C級	SH1−FBF20−C (電池内蔵)

工事箇所	大垣市　長沢町　地内		
工事名	（補）鶴見ポンプ場建設（電気）工事		
図面名	電灯動力盤リスト 照明器具姿図	縮尺	A1：− A3：−
大垣市水道部下水道課		図面番号	AE−04



1階平面図　　S＝1／100

凡例

記号	名称	備考
	電灯動力盤	LM-1
	蛍光灯	
	非常用蛍光灯	
	投光器	取付高　FL+3000
	避難口誘導灯	
	埋込スイッチ	1P15Ax1
$_{L}$	埋込スイッチ	1P15Ax1　ランプ付
$_{3}$	埋込スイッチ	3W15Ax1
$_{4}$	埋込スイッチ	4W15Ax1
$_{WP}$	埋込スイッチ	1P15Ax1　防水型
	2種金属線び	30x40　亜鉛メッキ
	プルボックス	樹脂製（サイズは注記による）

注記

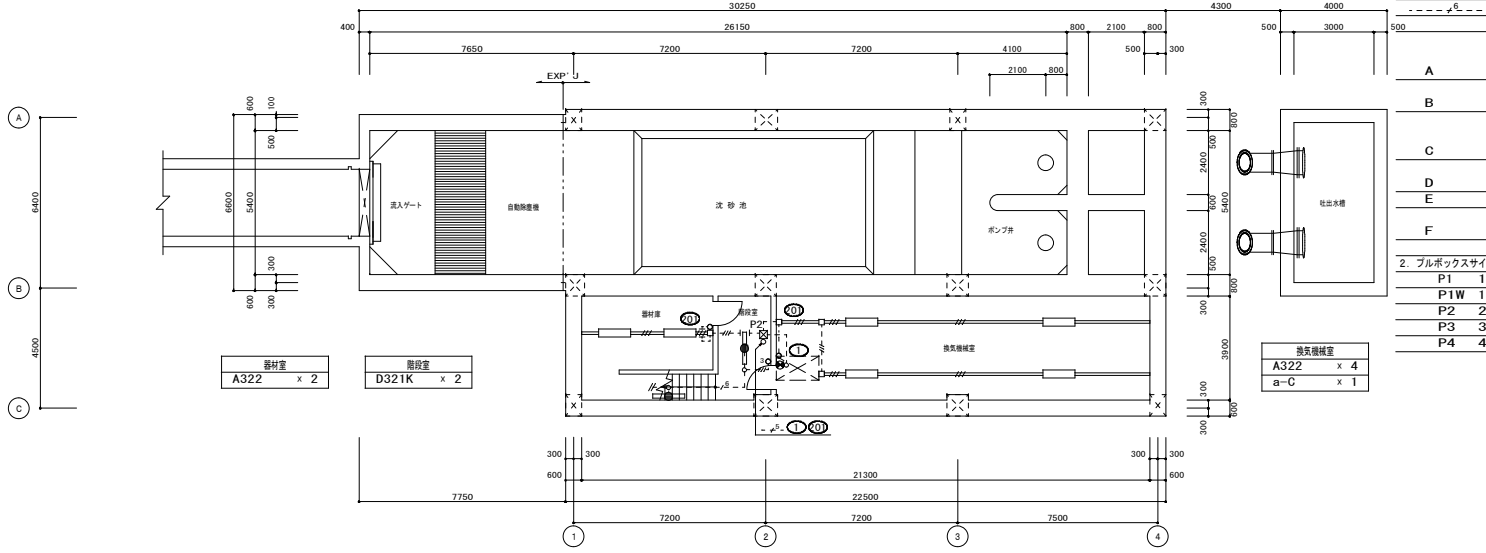
1．特記無き配管配線は下記による。

— - - — - - —	EM-EEF2.0-2C	天井コロガシ
— - -//- - —	EM-EEF2.0-3C	天井コロガシ
- - - -//- - - -	EM-IE2.0x2	(HIVE16)
- - - -//- - - -	EM-IE2.0x3	(HIVE16)
- - - -4- - - -	EM-IE2.0x4	(HIVE16)
- - - -5- - - -	EM-IE2.0x5	(HIVE22)
- - - -6- - - -	EM-IE2.0x6	(HIVE22)

	EM-IE2.0x2		1
	EM-IE2.0x4		202
A	EM-IE2.0x5	(HIVE28)	202
	EM-IE2.0x3		202
B	EM-IE2.0x5	(HIVE28)	202
	EM-IE2.0x2		1
	EM-IE2.0x2		202
C	EM-IE2.0x3	(HIVE28)	202
	EM-IE2.0x4		202
D	EM-IE2.0x5	(HIVE28)	202
E	C+D		
	EM-IE2.0x5		202
F	EM-IE2.0x3	(HIVE28)	202

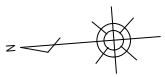
2．プルボックスサイズは下記による。

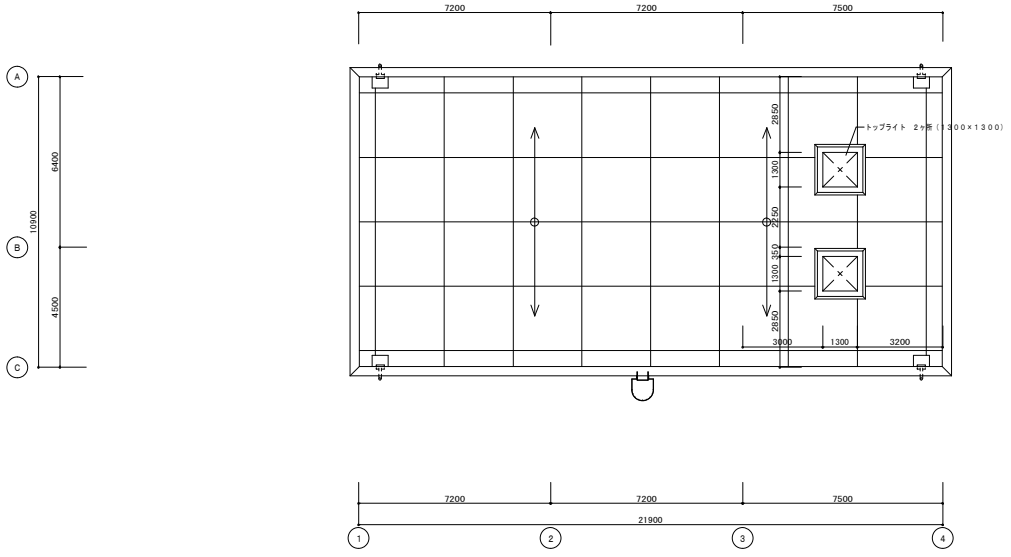
P1	150x150x100	
P1W	150x150x100	(溶融亜鉛メッキ仕上)　防水型
P2	200x200x200	
P3	300x300x200	
P4	400x400x300	



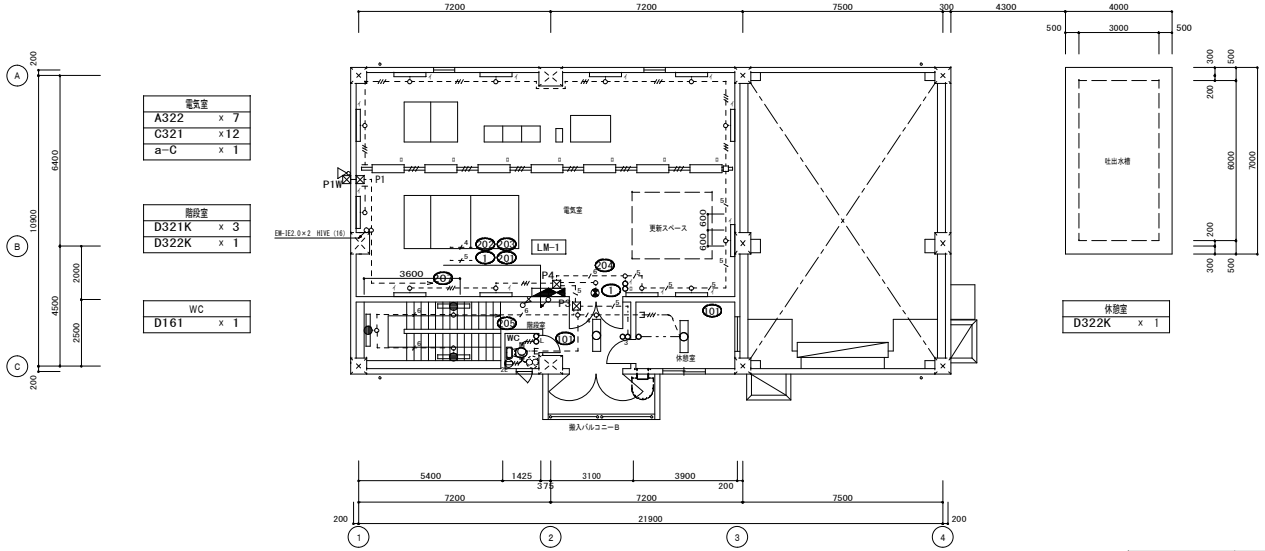
地下1階平面図　　S＝1／100

工事箇所	大垣市　長沢町　地内		
工事名	（補）鶴見ポンプ場建設（電気）工事		
図面名	電灯設備　平面図（1）	縮尺	A1：1/100 A3：1/200
大垣市水道部下水道課		図面番号	AE-05



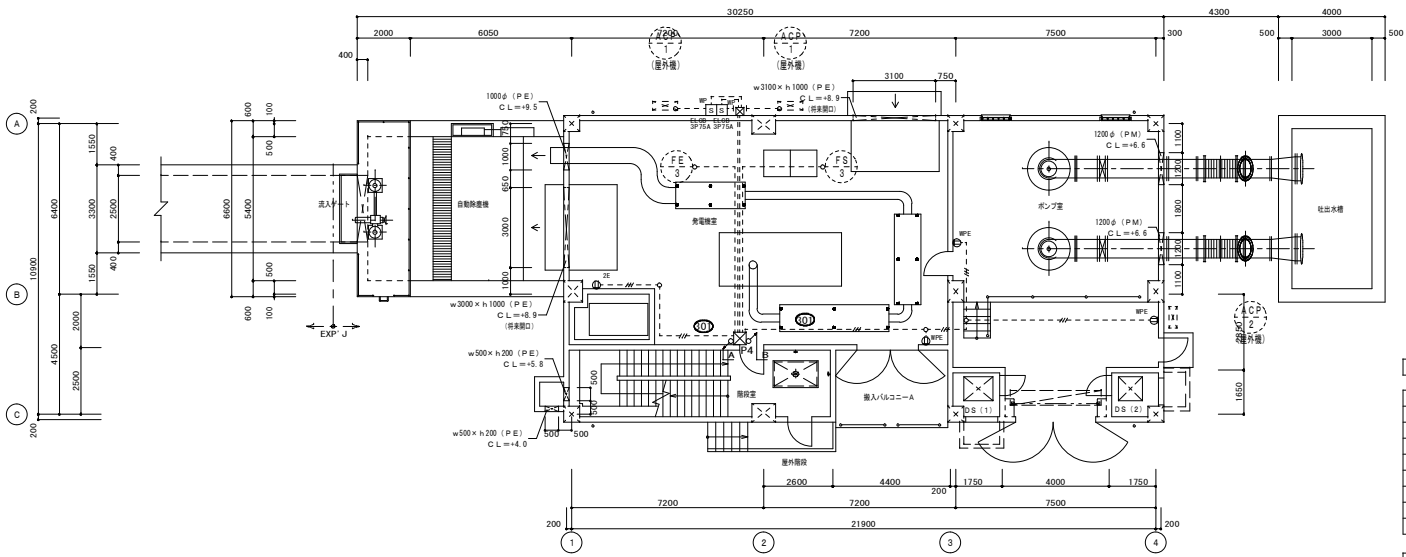


屋根伏図　　S=1／100



2階平面図　　S=1／100

工事箇所	大垣市　長沢町　地内		
工 事 名	（補）鶴見ポンプ場建設（電気）工事		
図 面 名	電灯設備　平面図（2）	縮　尺	A1：1/100 A3：1/200
大垣市水道部下水道課		図面番号	AE−06



1階平面図　　S＝1／100

凡例

記号	名称	備考
	電灯動力盤	LM-1
⊖2	埋込コンセント	2P15A×2
⊖2E	埋込コンセント	2P15A×2 E付
⊖WPE	埋込コンセント	2P15A×2 E付　防水
401	露出コンセント	2P15A×2 E付　端子盤内組込
	全熱交換機コントローラー	2個用スイッチボックス（機器別途設備工事）
	空調リモコン	2個用スイッチボックス（機器別途設備工事）
S	手元開閉器	容量は平面図参照（傍記WP：屋外用）

注記

1．特記無き配管配線は下記による。

（コンセント設備）

———	EM-EEF2.0-2C	天井コロガシ
——//———	EM-EEF2.0-3C	天井コロガシ
——//-//———	EM-1E2.0x3	（HIVE16）
——//-//———	EM-1E2.0x5	（HIVE22）

（空調換気設備）

——//———	EM-EEF2.0-3C	天井コロガシ
——e———	空配管	（PF16）
——e———	空配管	（HIVE16）

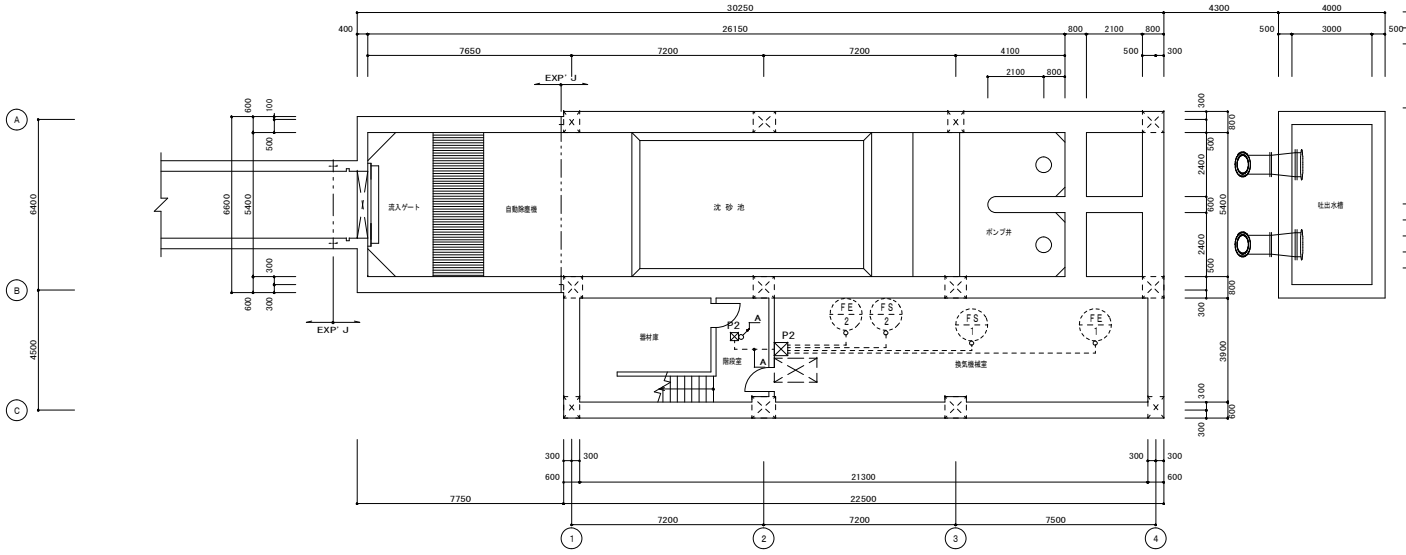
（動力設備）　※下記に無いものは盤結線表による。

A	EM-1E1.6x3		FS-1
	EM-1E1.6x3	（HIVE22）	FE-1
	EM-1E1.6x3		FS-2
	EM-1E1.6x4	（HIVE22）	FE-2
	EM-1E1.6x3	（HIVE16）	401
	EM-1E1.6x3		FS-3
	EM-1E1.6x4	（HIVE22）	FE-3
	EM-CET14sq,E5.5	（HIVE36）	ACP-1
B	EM-CET14sq,E5.5	（HIVE36）	ACP-1
	A		

2．プルボックスサイズは下記による。

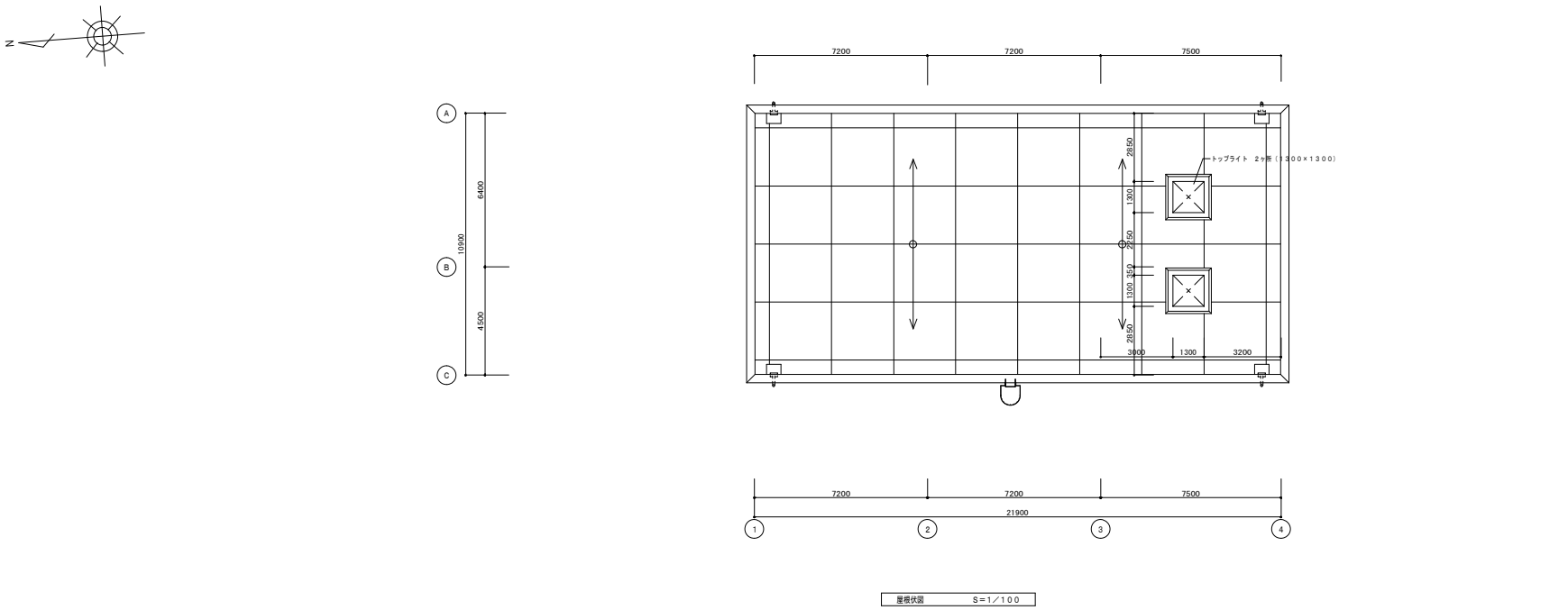
P2　200×200×200

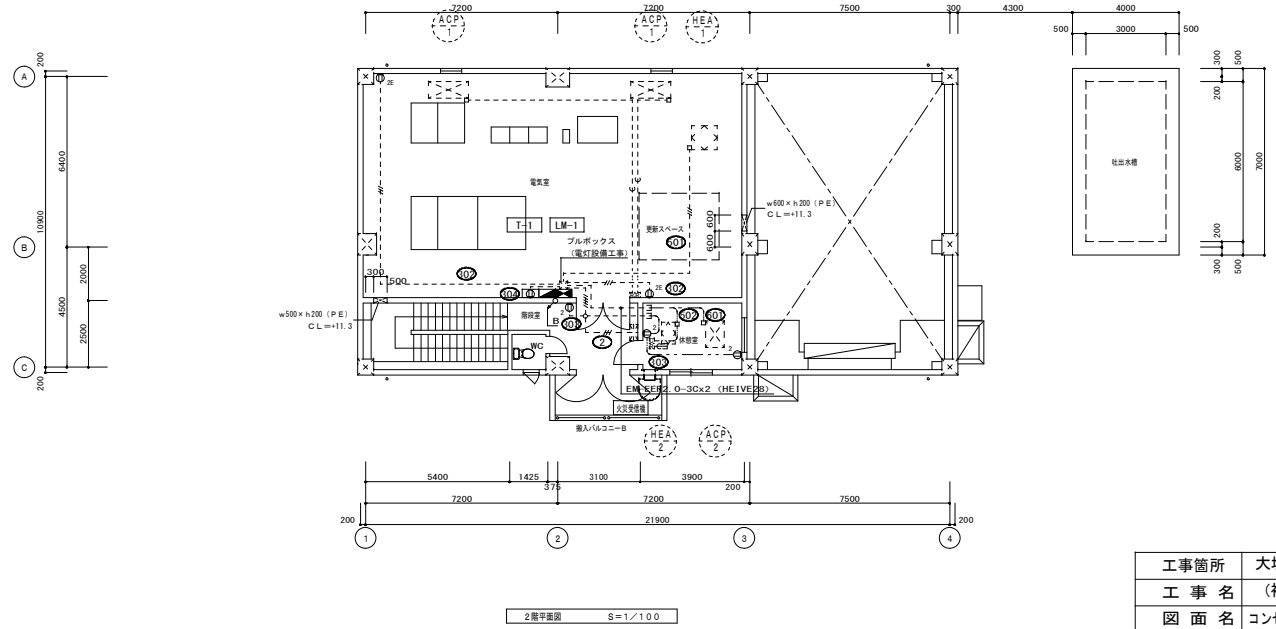
P4　400×400×300



地下1階平面図　　S＝1／100

工事箇所	大垣市　長沢町　地内		
工事名	（補）鶴見ポンプ場建設（電気）工事		
図面名	コンセント設備 平面図（1）	縮尺	A1：1/100 A3：1/200
大垣市水道部下水道課		図面番号	AE-07





工事箇所	大垣市　長沢町　地内		
工事名	（補）鶴見ポンプ場建設（電気）工事		
図面名	コンセント設備 平面図 (2)	縮尺	A1:1/100 A3:1/200
大垣市水道部下水道課		図面番号	AE−08

Ⓐ

——c——	FEP(30)	TEL引込
——c——	FEP(30)	予備

Ⓑ

——c——	HIVE(28)	TEL引込
——c——	HIVE(28)	予備
EM-IE5.5° ×1	HIVE(16)	EAt
EBT0.4-2P×2	HIVE(16)	CS

Ⓒ

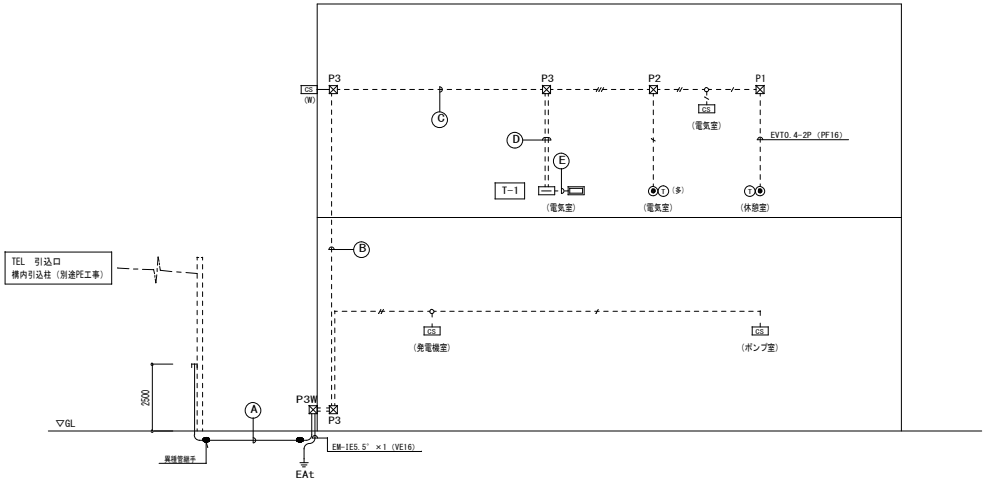
——c——	HIVE(28)	TEL引込
——c——	HIVE(28)	予備
EM-IE5.5° ×1	HIVE(16)	EAt
EBT0.4-2P×3	HIVE(22)	CS

Ⓓ

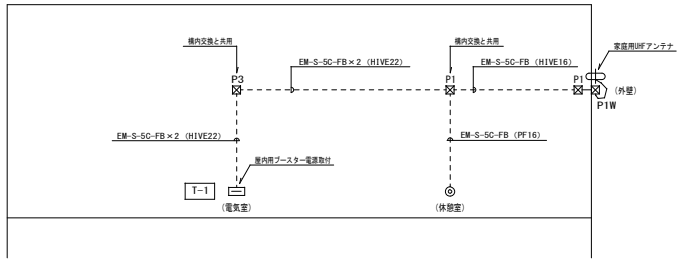
——c——	HIVE(28)×2	引込
EM-IE5.5° ×1	HIVE(16)	EAt
EBT0.4-2P×6	HIVE(22)	

Ⓔ

EM-TKEEO.4-20P HIVE(22)



構内交換設備 系統図



テレビ共同受信 系統図

凡例

記号	名称	備考
	ボタン電話主装置	仕様図参照
	端子盤	T-1
		保安スペース 5P
	電話用アウトレット	
EAt	接地（10Ω以下）	銅板900×900×1.5t
CS	CS接続装置	
①	電話機	一般電話機 （多）は多機能電話機
	UNFアンテナ（家庭用）	マスプロ電工 U25WL26B 相当品
②	テレビ受口	1端子型 テレビ端子

注記

1．特記無き配管配線は下記による。

- - - - - -	EBT 0.4-2P×1	(HIVE16)
- - - -//- - - -	EBT 0.4-2P×2	(HIVE16)
- - - -///- - - -	EBT 0.4-2P×3	(HIVE22)
- - - -///- - - -	EBT 0.4-2P×4	(HIVE22)

1．プルボックスサイズは下記による。

P1	150×150×100	
P2	200×200×200	
P3	300×300×200	
P3W	300×300×200	(溶融亜鉛メッキ仕上) 防水型

構内交換設備仕様書

1）システム概要

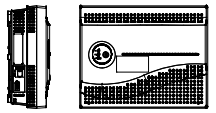
本システムは電話回線、総合デジタル通信回線接続機能に加え、ADSLモデム又は光回線終端装置経由にてIP網に接続するIP電話サービス機能を搭載したボタン電話システムとする。

2）システム容量

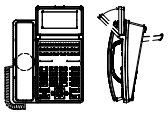
回線種別	実 装	容 量	備 考
局線（アナログ）	0	0	
局線（INS64）	1	2	
内線（多機能）	1	2	
内線（一般）	1	2	
PHS接続装置	4	7	

3）機器参考姿図

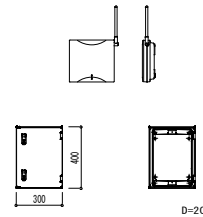
ボタン電話主装置



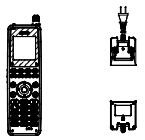
多機能電話機 1台



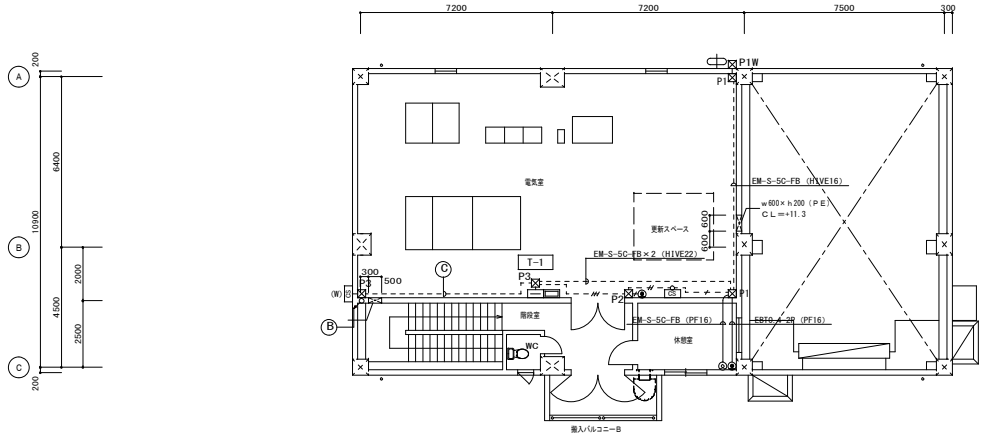
PHS接続装置 4台



携帯型デジタルコードレス 2台



工事箇所	大垣市 長沢町 地内		
工 事 名	（補）鶴見ポンプ場建設（電気）工事		
図 面 名	構内交換・テレビ共同受信系統図、仕様図	縮 尺	A1： － A3： －
大垣市水道部下水道課		図面番号	AE-09



2階平面図　　S＝1／100

Ⓐ

FEP(30)	TEL引込
FEP(30)	予備

Ⓑ

HIVE(28)	TEL引込
HIVE(28)	予備
EM-IE5.5° ×1	HIVE(16) EAt
EBT0.4-2P×2	HIVE(16) CS

Ⓒ

HIVE(28)	TEL引込
HIVE(28)	予備
EM-IE5.5° ×1	HIVE(16) EAt
EBT0.4-2P×3	HIVE(22) CS

凡例

記号	名称	備考
	ボタン電話主装置	別紙仕様図参照
	端子盤	T-1
		保安スペース 5P
	電話用アウトレット	
EAt	接地（10Ω以下）	銅板900×900×1.5t
CS	CS接続装置	
	UHFアンテナ（家庭用）	マスプロ電工 U25ML26B 相当品
	テレビ受口	1端子型 テレビ端子

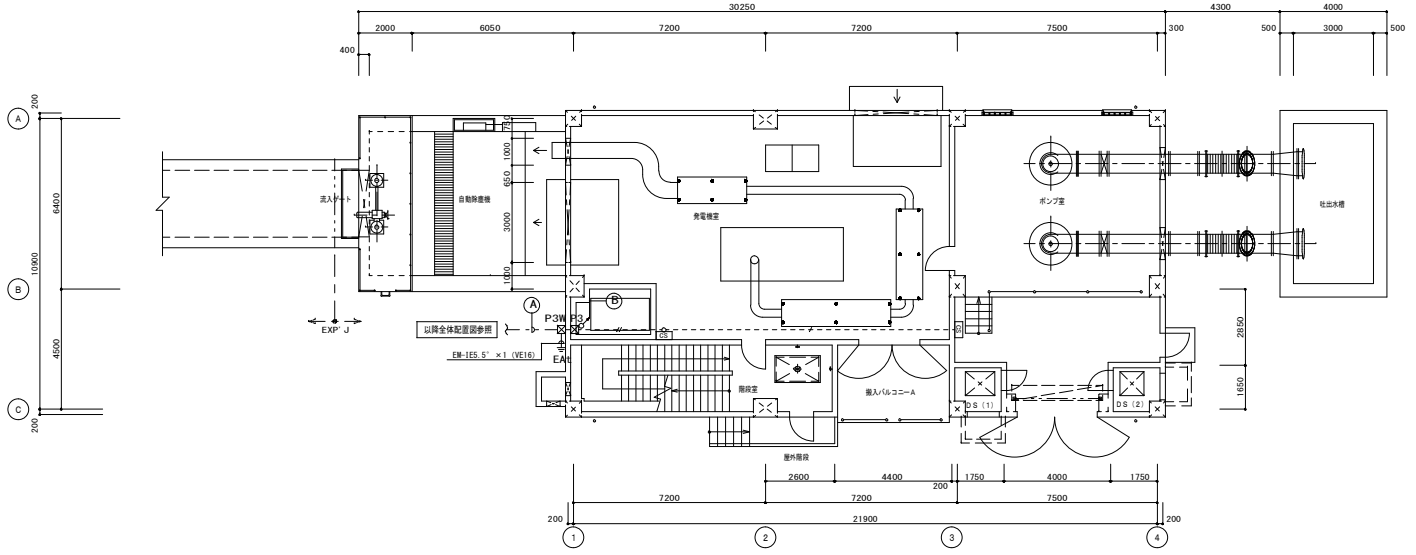
注記

1．特記無き配管配線は下記による。

-----	EBT 0.4-2P×1	(HIVE16)
-----	EBT 0.4-2P×2	(HIVE16)
-----	EBT 0.4-2P×3	(HIVE22)
-----	EBT 0.4-2P×4	(HIVE22)

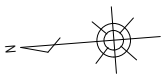
1．プルボックスサイズは下記による。

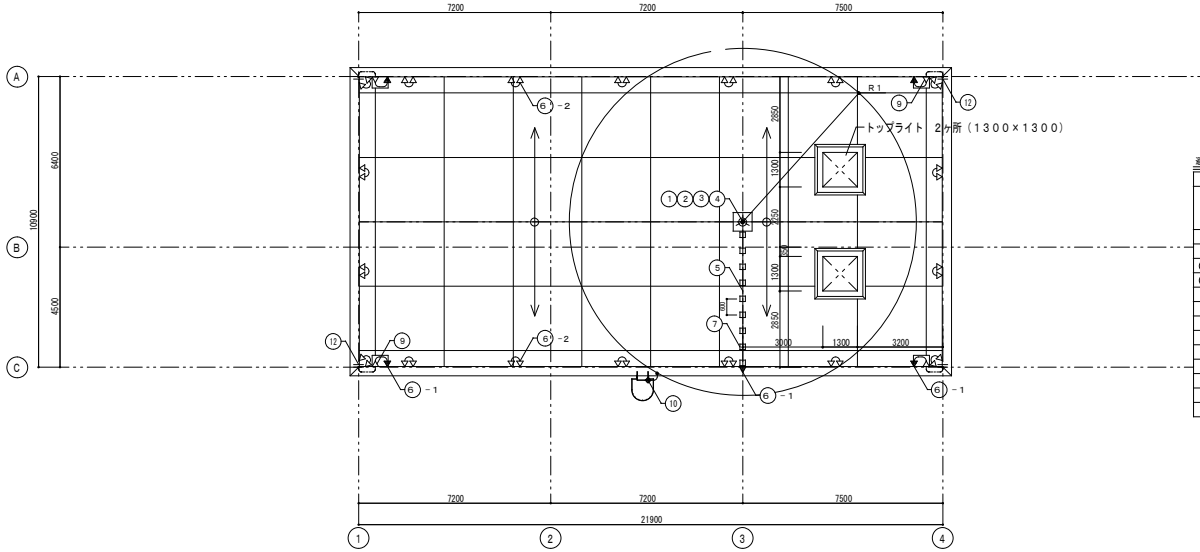
P1	150×150×100	
P2	200×200×200	
P3	300×300×200	
P3W	300×300×200	（溶融亜鉛メッキ仕上） 防水型



1階平面図　　S＝1／100

工事箇所	大垣市　長沢町　地内		
工事名	（補）鶴見ポンプ場建設（電気）工事		
図面名	構内交換設備 平面図	縮尺	A1：1/100 A3：1/200
大垣市水道部下水道課		図面番号	AE−10





屋根伏図　　S＝1／100

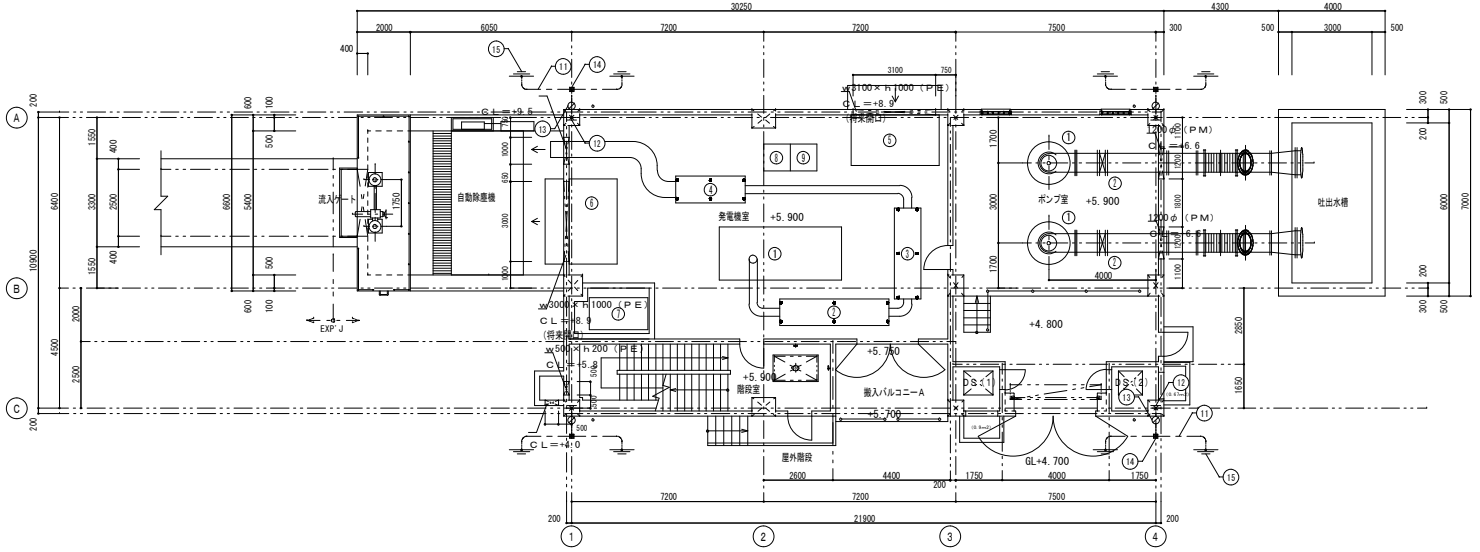
建築物等の雷保護　JIS A 4201：2003

保護レベル	Ⅳ
回転球体法	R 60m
メッシュ法	20m
引下げ導線の平均間隔	25m
接地システム	A型 接地極

避雷設備凡例

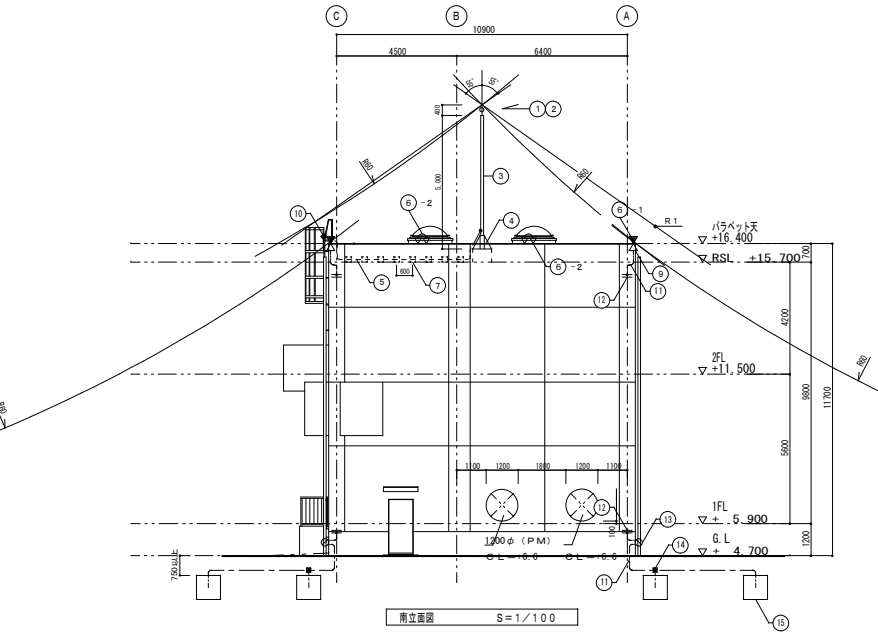
番号	記号	名称
①		突針　国土交通省型 LR-Ⅰ（銅製）　クロムメッキ
②		カップリング　（黄銅ロー付）
③		支持管:STKW 60.5φ(3.8t)×5.0m(溶融亜鉛メッキ製)
④		支持管取付台（溶融亜鉛メッキ製）コンクリート用
⑤		棟上導体　露出配線　アルミ線　2.0×25本
⑥-1		笠木用接続端子
⑥-2		笠木間接続金物
⑦		導線取付金物（耐食アルミ合金製）水平※600 床用
⑧		T型接続端子
⑨		水切端子
⑩		タラップ用接続端子（タラップを受雷部として利用）
⑪		避雷導線　埋込配管　銅線 2.0 × 13本（PF28）
⑫		鉄筋用接続端子
⑬		接続用端子函　露出型　ステンレス製（TB-SS1）
⑭		接続クランプ
⑮		接地銅板　1.5t × 900 × 900

※JIS A 4201-2003に基づく
※避雷針基礎は建築工事とする。

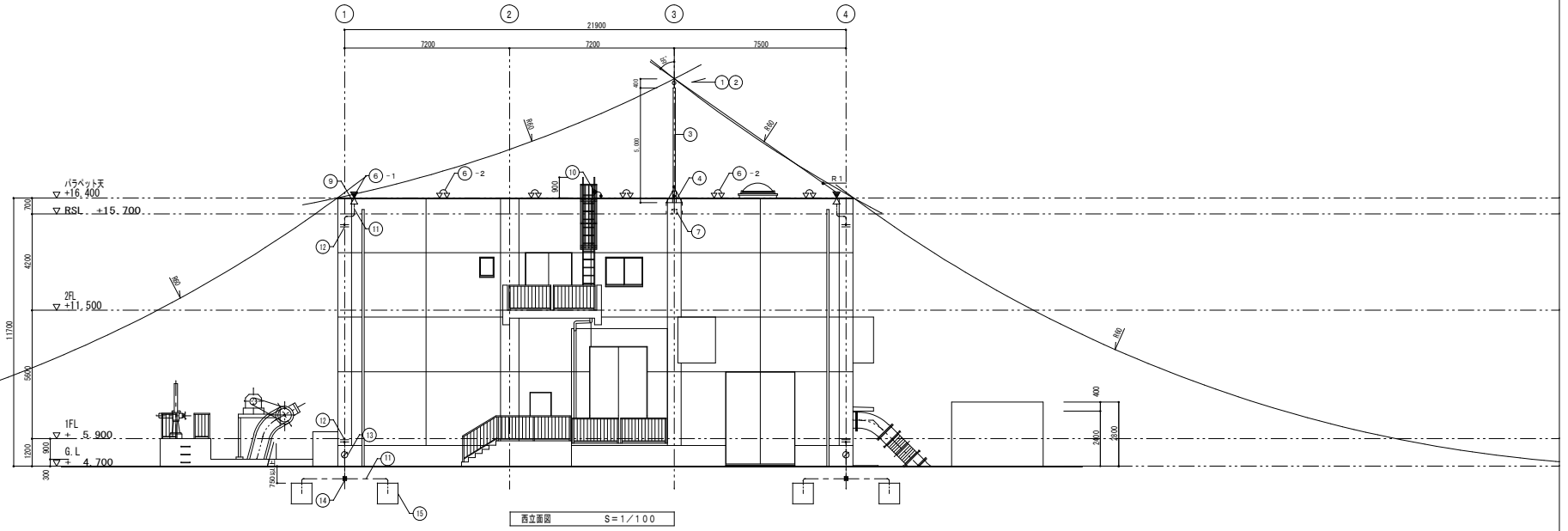


1階平面図　　S＝1／100

工事箇所	大垣市　長沢町　地内		
工事名	（補）鶴見ポンプ場建設（電気）工事		
図面名	雷保護設備 平面図	縮尺	A1：1/100 A3：1/200
大垣市水道部下水道課		図面番号	AE−11



南立面図　　S＝1／100



西立面図　　S＝1／100

避雷設備凡例

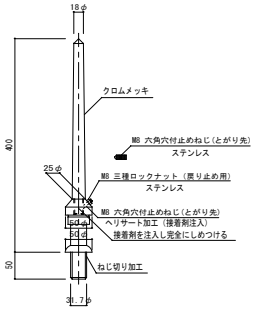
番号	記号	名称
①		突針　国土交通省型 LR-1（鋼製）　クロムメッキ
②		カップリング　（黄銅ロー付）
③		支持管：STKW 60.5φ(3.8t)×5.0m(溶融亜鉛メッキ製)
④		支持管取付台（溶融亜鉛メッキ製）コンクリート用
⑤		棟上導体　露出配線　アルミ線　2.0×25本
⑥-1		笠木用接続端子
⑥-2		笠木関接続金物
⑦		導線取付金物（耐食アルミ合金製）水平@600 採用
⑧		T型接続端子
⑨		水切端子
⑩		タラップ用接続端子（タラップを受雷部として利用）
⑪		避雷導線　埋込配管　銅線　2.0 × 13本（PF28）
⑫		鉄筋用接続端子
⑬		接続用端子箱　露出型　ステンレス製（TB-SS1）
⑭		接続クランプ
⑮		接地銅板　1．5t × 900 × 900

※JIS A 4201-2003に基づく
※避雷針基礎は建築工事とする。

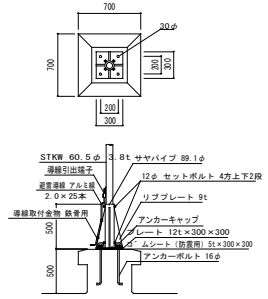
建築物等の雷保護　JIS A 4201：2003

保護レベル	Ⅳ
回転球体法	R 60m
メッシュ法	20m
引下げ導線の平均間隔	25m
接地システム	A型 接地棒

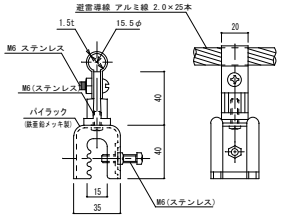
工事箇所	大垣市　長沢町　地内		
工事名	（補）鶴見ポンプ場建設（電気）工事		
図面名	雷保護設備 立面図	縮尺	A1：1/100 A3：1/200
大垣市水道部下水道課		図面番号	AE−12



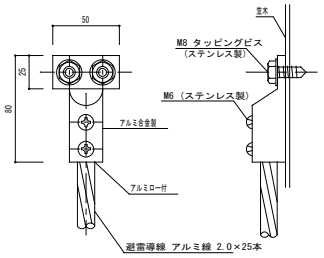
① 国土交通省型突針 LR-1（鋼製） S=1/5



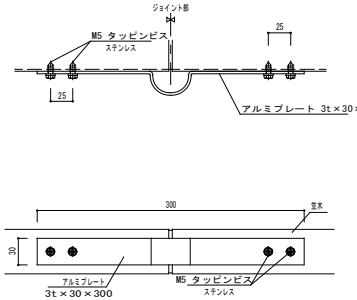
③④ 支持管取付図 S=1/30



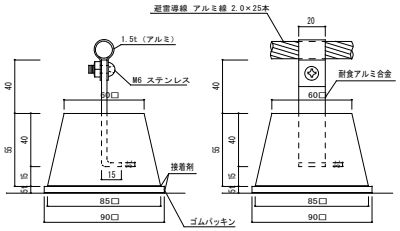
導線取付金物（鉄骨用） S=1/2



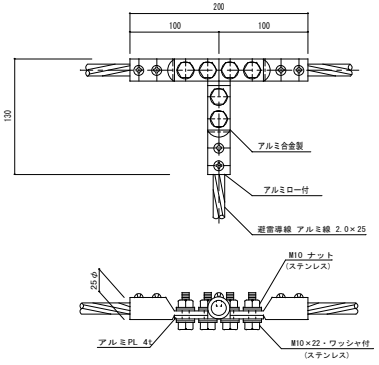
⑥-1 笠木用接続端子 S=1/2



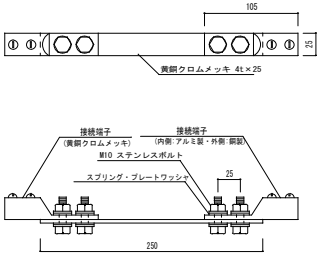
⑥-2 笠木間接続金物 S=1/3



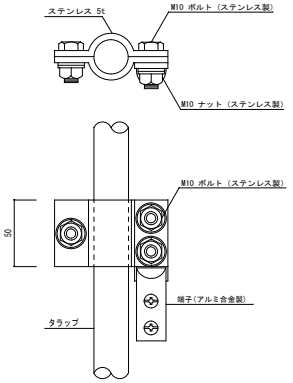
⑦ 導線取付金物（床用） S=1/2



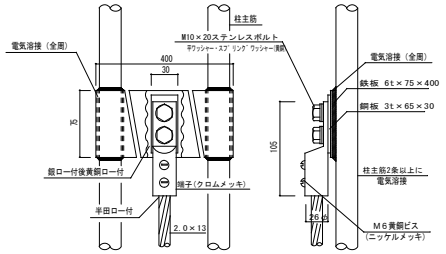
⑧ T型接続端子 S=1/3



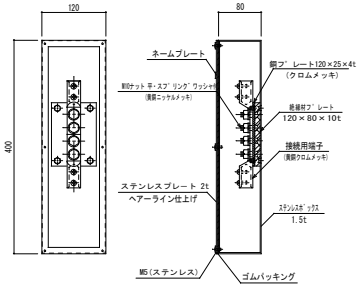
⑨ 水切端子 S=1/3



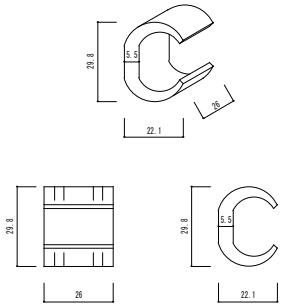
⑩ タラップ用接続端子 S=1/2



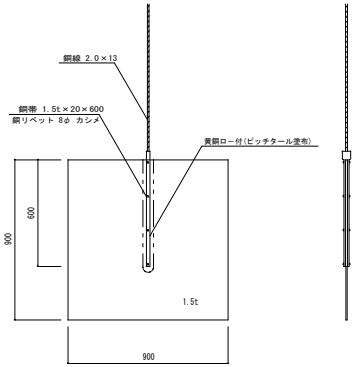
⑫ 鉄筋用接続端子 S=1/3



⑬ 接続用端子銅(露出型)TB-SS1 S=1/5



⑭ 接続クランプ S=1/2



⑮ 接地極、銅板 S=1/15

工事箇所	大垣市　長沢町　地内		
工 事 名	（補）鶴見ポンプ場建設（電気）工事		
図 面 名	雷保護設備 機器詳細図	縮　尺	A1：1/100 A3：1/200
大垣市水道部下水道課		図面番号	AE−13